

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①	学生確保の見通し	2
ア	定員充足の見込み	2
イ	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
ウ	学生納付金の設定の考え方	7
②	学生確保に向けた具体的な取組状況	7
ア	不特定対象者への広報の方法	7
イ	現役学生への広報	7
ウ	企業・医療機関等の従事者への広報	8
2	人材需要の動向等社会の要請	
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	8
②	①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	8

学生の確保の見通し等を記載した書類

大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻における学生確保の見通し及び申請者としての取組状況は以下の通りである。

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

神奈川県立保健福祉大学（以下、本学）大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（以下、本研究科）は、急激な少子高齢化の進行、様々な保健医療課題に対して、公衆衛生学を基盤としつつ、既存の概念にとらわれない起業家精神を持ち、科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くすことができる国際的な人材の養成を行う。本研究科では、プレゼンテーションや討議、能動的学修（アクティブ・ラーニング）を始めとした実践的な教育・研究を実施することから、少人数での教育が主であると考え、入学定員 15 人、収容定員 30 人とする。この定員設定については、教育方法や環境の他、公衆衛生分野における競合他大学院の動向や、大学生・社会人および企業・団体等を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、社会的な需要などを総合的に判断し、設定を行っており、定員充足に問題がないと判断している。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 競合他大学院の志願動向

平成 30 年 3 月時点において、関東圏に所在する公衆衛生学の修士課程（専門職学位課程含む）は、国立大学 2 校と、私立大学 3 校となっている。各大学のホームページより、過去 3 年間の入学状況および在籍状況を調べた結果、平成 29 年度では 5 大学のうち 3 大学で定員充足しており、また、全ての大学の入学者数は、本研究科が設定した入学定員 15 人を上回る状況となっている。さらに、国立大学 2 校の志願者については、入学定員の約 2～3 倍程度で推移しており、好調な状況が保たれている。（資料 1：関東圏内の公衆衛生大学院の募集状況）

2) 本学大学院の募集状況

以下の表 1 は、本学における保健福祉学研究科保健福祉学専攻（博士前期課程）の過去 3 年間における志願者の推移である。平成 29 年度より、同研究科の博士後期課程を設置したことで、修士課程を博士前期課程と名称の変更を行っている。なお、募集状況は以下の通りで、いずれの年度においても堅調に推移しており、本学が行う研究・教育が受験生より高く評価を得ていると考えている。本研究科においても、本学が行う研究・教育への評価を生か

し、学生の確保を行うものとする。

(表 1 : 本学保健福祉学研究科保健福祉学専攻の志願者推移)

名称	入学定員	H27 年度	H28 年度	H29 年度
保健福祉学研究科(修士課程)	20 人	32 人	22 人	—
保健福祉学研究科(博士前期課程)	20 人	—	—	32 人

3) アンケートの結果

本研究科の定員充足の見通しについて、第三者機関に依頼のもと、受験が想定される各対象に向けてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は本学に在学する大学生、本研究科のプレ講座の受講生に加え、最終学歴が大学卒・大学院卒の社会人とした。大学生およびプレ講座受講生はアンケート用紙を配布し、回答後にその場で回収した。社会人へのアンケートは WEB を活用し、より現実的な受験・入学意欲を把握するため、神奈川県および東京都に居住する社会人に限定して行った。各アンケートの結果は以下の通りである。

◆アンケート調査 1 : 本学に在学する学生を対象としたアンケートの結果

本学に設置する4つの学科に在学する1年生から4年生を対象とし、668人の有効回答を得た。668人に本研究科への受験意欲を質問したところ、「受験したい」に6人が回答した。この「受験したい」と回答した6人に対し、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、2人が「入学したい」と回答、4人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、本研究科への入学意欲を示す回答が得られた。また、「将来、必要性を感じた場合には受験したい」と回答した147人においても、74人が「入学したい」と回答、68人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、本研究科に対し、将来的な入学意欲を示す回答を得られた。

本研究科は平成 31 年 (2019 年) 4 月開設のため、本調査の回答者における初年次での受験・入学が可能となる対象は、3 年生と 4 年生である。そこで、受験意欲と入学意欲の回答を、3・4 年生のみで抽出をした。その結果、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を「受験したい」と回答した 3・4 年生は 4 人おり、そのうち、1 人が「入学したい」と回答、3 人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、強い入学意欲を示す回答を得られた。(資料 2 : 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程 (仮称)」設置構想に係る大学生アンケート調査報告書)

◆アンケート調査 2 : 本研究科のプレ講座参加者を対象としたアンケートの結果

神奈川県が企画・実施した「県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 (仮称) プレ講座」の受講生を対象とし、52人より有効回答を得た。52人のうち、本研究科を受験したいと回答した25人のうち、76.0%にあたる19人が「合格した場合、入学したい」

と回答し、予定する入学定員15人を上回る入学意欲を示す回答が得られた。（資料3：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」設置構想に係る社会人アンケート調査報告書）

上記の調査1（大学生対象）、調査2（プレ講座参加者対象）で得られた結果から、本研究科への受験・入学意欲をまとめると、以下の表2となる。なお、本学に在学する学生については、前述の通り、初年次での受験・入学が可能となる対象は、3・4年生であることから、以下の表も3・4年生のみの回答を抽出している。

（表2：調査1・2で得られた本研究科への受験・入学意欲）

対象	有効件数	受験したい	入学したい	併願大学の結果によっては入学したい
大学生	279人	4人	1人	3人
プレ講座受講生	52人	25人	19人	3人
合計	720人	29人	20人	6人

※大学生の「有効件数」「受験したい」「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」の回答数は3・4年生のみ

本研究科の入学定員15人に対して1.9倍にあたる29人が受験意欲を示し、そのうち20人より強い入学意欲を示す回答を得られたことから、本研究科の学生確保は十分に見通しがあると考えられる。

なお、調査2（資料3：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」設置構想に係る社会人アンケート調査報告書）は、本研究科において行う授業をイメージし、模擬授業の形で一部を英語で開催した「県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（仮称）プレ講座」イベントの受講生を対象として行ったものであるが、本イベントの受講生には別様式でのアンケート調査も行っている。このアンケートでは、英語での講座を行った回の参加者を対象に、英語で行った講座への満足度（アンケート項目(1)および(2)）と、英語の講座における履修への希望や理解度（アンケート項目(5)）を聞いている。当日は英語での講座を2回行ったが、そのうち1回目の講座に対する満足度（アンケート項目(1)）は、「とても満足した」に12人、「満足した」に20人が回答しており、回答者44人のうち72.7%が満足を示した。また、2つ目の講座（アンケート項目(2)）に対しても、「とても満足した」に11人、「満足した」に16人が回答しており、回答者44人のうち61.4%が満足を示した。さらに、英語での講座の理解度（アンケート項目(5-3)）については、「全て理解できた」に6人、「おおむね理解できた」に24人が回答しており、68.2%が理解できたと回答している。英語で開催される講義についてどう思うかの質問（アンケート項目(5-1)）に対しては、「英語力に関わらず積極的に履

修したい」に 25 人、「英語力に自信はないが出来る限り履修したい」に 15 人が回答しており、「英語力に自信がないので出来る限り履修しない」を回答した 2 人と比較し、英語で開催される講義に対して、積極的な姿勢を示している。(資料 8 : 「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 (仮称) プレ講座「Introduction to Health Innovation」参加者アンケート結果」)

調査 2 (資料 3 「神奈川県立保健福祉大学『大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程 (仮称)』設置構想に係る社会人アンケート調査報告書」) では、25 人が「受験したい」と回答し、そのうち 19 人が「入学したい」と回答しているが、資料 8 (「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 (仮称) プレ講座「Introduction to Health Innovation」参加者アンケート結果」) より、英語で行われた講座への満足度および理解度の高さに加え、英語で開催される講義への積極的な参加意欲について示していることから、本研究科の特色である積極的に開講される英語による授業 (必修科目 21 単位 (うち、演習科目 8 単位分は日本語・英語両方で開講) を英語で開講するに加え、選択科目についても英語による授業を複数科目開講) であっても、調査 2 で得られた入学意欲への回答に影響はないと考えている。

◆調査 3 : 社会人を対象とした WEB アンケートの結果

WEB アンケートは、幅広い社会人における本研究科への受験・入学意欲を測ることを目的とし、上記 2 つのアンケートを補完するために実施した。

本調査はインターネットを利用し、神奈川県および東京都に居住する社会人を対象にアンケートを実施した。回答者は①22 歳から 59 歳、②最終学歴が大学卒および大学院卒、③居住地が神奈川県もしくは東京都、以上の条件に適合した 8,007 人である。本研究科への受験意欲をより明確にするため、回答者 8,007 人には、“健康の増進”や“疾病の予防”等に関する学問に興味があるか質問し、63.4%にあたる 5,079 人が「興味はある」と回答した。この 5,079 人に、大学院進学への興味について質問し、5,079 人のうち、37.5%にあたる 1,907 人が「興味がある」と回答した。さらに、この 1,907 人に対して本研究科への受験意欲を質問し、1,907 人のうち、42.0%にあたる 800 人が「受験したい」と回答しており、全回答者 8,007 人の 10.0%にあたる回答者が本研究科への受験意欲を示した。さらに、本研究科を受験したいと回答した 800 人のうち、68.9%にあたる 551 人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示す回答が得られた。(資料 4 : 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程 (仮称)」入学意向に関する WEB アンケート調査報告書)

WEB アンケートにおいても、本研究科の入学定員 15 人を大きく上回る 800 人が受験意欲を示し、そのうち 551 人が強い入学意欲を示した。この通り、WEB アンケートで得られた多くの入学意欲に加え、本学の学生を対象としたアンケートでも、「将来、必要性を感じ

た場合には受験したい」の回答が147人おり、そのうち142人が入学意欲を示していることから、本研究科の学生の確保は、長期的かつ安定的に入学希望者が見込まれ、十分可能であると考えている。

また、WEB アンケートでは英語で開催される講義への印象について質問しており、この回答を本研究科に対して「合格した場合、入学したい」と回答した 551 人でクロス集計したところ、「自身の英語力に関わらず、積極的に履修したい」に 248 人、「英語力に自信はないが、出来る限り履修したい」に 236 人が回答し、入学意欲を示した 551 人のうち 87.8% もの回答者が、英語で開催される講義に対して積極的な姿勢を示した。(資料 9：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」入学意向に関する WEB アンケートのクロス集計(英語で開催する講義への印象×入学意欲))

設置の趣旨等を記載した書類でも述べた通り、本研究科では、世界的課題の解決や、国際的人材の輩出を見据えた教育課程とするため、英語による授業を積極的に開講し、英語のみによる単位履修を可能とする。具体的には、必修科目 21 単位(うち、演習科目 8 単位分は日本語・英語両方で開講)を英語で開講するに加え、選択科目についても英語による授業を複数科目開講することで、英語のみで修了要件である 42 単位を修得することを可能としている。これを踏まえて、本研究科では入学時に求める英語力を、TOEIC では 800 点以上、TOEFL(iBT)では 70 点以上を目安としている。

WEB アンケートでは、TOEIC 及び TOEFL(iBT)のスコアを質問しており、この回答と本研究科へ入学意欲を示した回答でクロス集計を行ったところ、「入学したい」と回答した 551 人中、TOEIC のスコアを記載した 381 人のうち 75 人(19.7%)が入学目安の 800 点以上と回答しており、また、TOEFL(iBT)ではスコアを記載した 215 人のうち 124 人(57.7%)が入学目安の 70 点以上と回答している。(資料 10：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」入学意向に関する WEB アンケートのクロス集計(英語スコア×入学意欲))。また、資料 8(「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科(仮称)プレ講座「Introduction to Health Innovation」参加者アンケート結果)でも、対象者に英語スコアを質問しているが、TOEIC の英語スコアを回答した 17 人のうち半数以上の 9 人(52.9%)が入学目安の 800 点以上と回答していることから、本研究科が入学時に求める英語力という視点からも、入学希望者は十分に見込まれるものと考えている。

なお、日本国内に所在する公衆衛生大学院のうち、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科ヘルスイノベーションコースでは、開講する講義全てが英語にて行われているが、平成 30 年 6 月時点での収容定員 12 人のうち、在籍者数は 17 人(うち 13 人が留学生)(長崎大学ホームページより参照)となっており、地域は異なるが、学生確保の可能性を示している。また、聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科でも、英語による授業が展開

されているが、資料1（関東圏内の公衆衛生大学院の募集状況）の通り、本研究科の入学定員15人を上回る35人もの入学者がいる状況から、本研究科における学生確保が十分に可能であることが伺える。

また、公衆衛生学については、本学が長年養成している保健医療分野の他、医学、歯学、薬学等の学士課程を修めた学生が多く進学していると思われる。一方で、本研究科で養成する人材は、リサーチャー・ビジネスパーソン・アドミニストレータ・・ポリシーメーカーと幅広い領域にまたがっていることから、健康や医療、シンクタンク、コンサルタント、公務など、様々な業界で従事する社会人を主なターゲットとしており、これら多くの業界で従事する社会人は、当然ながら様々な学士課程を修了していることが想定される。そのため、社会人については、どのような学士課程を修めたかについての制限を特別行わずに受け入れを図ることで、安定的な学生の確保を行っていく。

ウ 学生納付金の設定の考え方

1) 授業料

授業料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成14年12月 条例第67号）により定められている学部生及び大学院修士課程学生と同様に、本研究科についても年間535,800円とする。

2) 入学料

入学料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成14年12月 条例第67号）により定められている既設の大学院修士課程学生と同様に、本研究科についても県内居住者282,000円、県外居住者564,000円とする。

3) 検定料

検定料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成14年12月 条例第67号）により定められている既設の大学院修士課程学生と同様に、本研究科についても検定料30,000円とする。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 不特定対象者への広報の方法

本学にて開催されるオープンキャンパス（年1回）や大学院説明会（年1回）にて大学院受験相談窓口を設け、大学院担当教員、事務職員などが対応する。また本学ホームページや県のホームページにより情報を積極的に発信する。また電話やホームページ上にての相談窓口を設置し、質問等に対する回答を行う予定である。

イ 現役学生への広報

保健福祉系大学へリーフレットを郵送し、掲示を依頼する予定である。また、本学の在
学生に対しても、説明会などを行う予定である。

ウ 企業・医療機関等の従事者への広報

県内・都内の医療機器や製薬を始めとした企業やシンクタンク、医療機関、行政機関など
リーフレットを配布し、一部の企業・医療施設等において、広報を予定している。また、本
学では就職説明会を年 1 回開催しているが、その説明会へ参加している企業・医療施設担
当者に対し、リーフレットの配布、説明を行う。

2. 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

急激な少子高齢化の進行、様々な保健医療課題に直面する中、健康寿命の延伸や未病を改
善して市民一人一人が生きがいを持った人生を送ることができる社会を実現するためには、
既存の概念にとらわれない課題解決の方策が必要であるという認識のもと、本研究科では、
起業家精神を持ち、科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くすこと
ができる国際的人材を養成する。具体的には、下記のような人材を養成する。

- 【リサーチャー】 技術革新や、その基礎となる技術の研究・開発ができる人材
- 【ビジネスパーソン】 革新的な技術を具体的に産業化できる人材
- 【アドミニストレータ】 組織管理に革新を起こし、効果的・効率的な保健医療サービスの提
供ができる人材
- 【ポリシーメーカー】 組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資する新たな仕組み
を作ることができる人材

② ①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 政府・公的機関等による報告書

平成 23 年 9 月に日本学術会議 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリック
ヘルス科学分科会が提言した、『わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の活用と機
能強化』によると、「わが国は新たな健康・医療問題及び環境リスクや食の安全の問題など
に直面 (P. 1)」しており、「このような様々な健康・医療問題への対応は、わが国の喫緊の
課題であり、人間集団の健康を対象にした調査・分析の手法を身につけ、保健医療に関わる
社会制度や社会自然環境が人々の健康や安全に及ぼす影響を体系的に理解し、政策立案・マ
ネジメント能力に優れた、より高度な公衆衛生の専門家養成が求められている (P. 1)」と公

衆衛生学を修得した人材の必要性について提言している。また、同提言では公衆衛生大学院修了者の進路として、「公衆衛生行政（国、自治体、国際機関）、企業・団体の健康管理部門、医療機関や医療・製薬産業、保険団体、非営利組織、シンクタンク・コンサルタント業などで公衆衛生専門家として働くことや、さらに博士課程に進み、公衆衛生分野の教育研究職につくことなどが想定される（P.6）」と、多様な分野への進路が示されている。海外における公衆衛生専門大学院修了者の事例においても、「行政（国、自治体、国際機関）、企業・自治体の試験研究機関、医療機関、医療産業、保険団体、非営利組織、シンクタンク・コンサルタント業などで専門家・専門スタッフとして働く者や、さらに博士課程に進み、研究者、教育者、より高度な専門家になる者などがある（P.2）」と示されており、国内外において健康・医療問題に対応できる人材の需要が、多様な分野において求められていることが分かる。

わが国が抱える様々な問題のうち、もっとも対応が急務なのは高齢化社会への対応である。内閣府の『平成29年度版高齢社会白書』によると、わが国の総人口は平成28年10月1日時点で、1億2,693万人であり、そのうち27.3%にあたる3,459万人が65歳以上となっている。65歳以上人口の割合は、今後も上昇が続き、平成77年には38.4%に達し、国民の約2.6人に1人が65歳以上となる社会が到来すると推計している。神奈川県では、平成27年時点での高齢化率（総人口における65歳以上人口の割合）が23.9%のところ、平成52年には35.0%と、25年後には11.1ポイント伸びると予測され、高齢化率の伸びは全国の中でも3番目に高い数値であることから、高齢化への様々な対応が急務となっている。また、高齢化のみならず、出生数の減少による総人口数および生産年齢人口の減少も指摘されており、わが国の総人口は平成65年には1億人を割り、平成77年には8,808万人に減少、生産年齢人口も平成28年の7,656万人から、平成77年には4,529人と大幅な減少が予測されており、わが国が取り巻く社会は、今後約50年間で急激な変化が待っている状況である。（資料5：平成29年度版高齢社会白書 P.2～8）

このような状況の下、内閣府では、『未来投資戦略2017』において、わが国の中長期的な成長を実現させる鍵は社会課題の解決であるとし、健康寿命の延伸を重要な分野の一つとしている。この健康寿命の延伸に向けた具体的な施策として、「技術革新を活用し、健康管理と病気・介護予防、自立支援に軸足を置いた、新しい健康・医療・介護システムの構築（P.39）」や「産学官民が一体となった健康維持・増進の取組促進（P.44）」、「日本発の優れた医療薬・医療機器等の開発・事業化（P.44）」の他、「グローバル市場の獲得、国際貢献（P.46）」が挙げられている。また、神奈川県においても、ヘルスケア・ニューフロンティア政策を推進している。この政策は、超高齢社会の到来によって訪れる、かつて経験したことのない急激な社会変化を乗り越え、誰もが健康で長生きできる社会を実現するため、「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という二つのアプローチによって新たな社会システムを構築することで、健康寿命日本一と新たな市場・産業の創出を目指すものである（資料6：神奈川県 未病がつくる健康長寿社会）。このように、国や自治体では高齢化社会を迎えるにあたり、技術革新の活用や追及が重要な施策の一つであると示している。本研究

科の養成する人材は上記の通りであるが、公衆衛生の専門性を備えつつ、技術革新を行える人材は、わが国や自治体が抱える高齢化を始めとした諸課題の解決に向けて、重要な役割を果たせると考えている。

イ 第三者機関実施による企業・医療施設等へのアンケート調査

企業や団体における、本研究科で養成する人材の需要について、第三者機関に依頼のもと、アンケート調査を実施した。アンケートの対象および手法についてだが、神奈川県内の病院や本研究科の周辺に拠点をおく企業に対してはアンケート用紙を郵送、未病産業研究会に加入し、担当者のメールアドレスが把握している企業にはWEBを活用し、それぞれ実施した。各アンケートの結果は以下の通りである。(資料7：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書)

◆神奈川県内の病院および近隣企業等へのアンケート調査

神奈川県内の200床以上ある病院(県立病院を除く)と、キャンパスとして予定する川崎市殿町に拠点を設ける企業、東京都もしくは神奈川県に本社/支社を持つ主要な製薬・医療機器企業、計155件を対象とし、31件の回答を得た。31件のうち、本研究科の修了生について、1件(3.2%)が「採用したい」、15件(48.4%)が「採用を検討したい」と回答し、合計で16件(51.6%)が採用意欲を示した。地域別に「採用したい」「採用を検討したい」への回答をみると、「神奈川県」は13件、「東京都」は2件、「その他」は1件と、キャンパスを予定する川崎市周辺に所在する企業・団体より、一定の採用意欲を示す回答を得られた。また、採用意欲を示した16件に対して、採用可能と思われる人数の記載を求めたところ、合計で12人の採用が見込まれることがわかった。

◆未病産業研究会に加入している企業・団体へのアンケート調査

未病産業研究会に加入する企業・団体、507件を対象とし、23件の回答を得た。23件のうち、本研究科の修了生について、2件(8.7%)が「採用したい」、18件(78.3%)が「採用を検討したい」と回答し、合計で20件(87.0%)が採用意欲を示した。地域別に「採用したい」「採用を検討したい」への回答をみると、「神奈川県」は7件、「東京都」は10件と、キャンパスを予定する川崎市周辺に所在する企業・団体より、一定の採用意欲を示す回答を得られた。また、「埼玉県」「静岡県」「愛知県」もそれぞれ1件が「採用を検討したい」と回答しており、近隣でない企業・団体も採用意欲を示した。また、採用意欲を示した20件に対して、採用可能と思われる人数の記載を求めたところ、合計で19人の採用が見込まれることがわかった。

上記2つのアンケート調査で得られた結果から、本研究科修了生に対する採用意欲をまとめると、以下の表3となる。

(表3：2つのアンケート調査で得られた本研究科修了生の採用意向)

対象	回収件数	採用をしたい	採用を検討したい	採用意欲の合計
病院・近隣の企業	31件	1件	15件	16件
未病産業研究会	23件	2件	18件	20件
合計	54件	3件	33件	36件

2つのアンケートの回収件数54件のうち、「採用したい」に3件、「採用を検討したい」に33件が回答し、合計で回収件数54件の66.7%にあたる、36件より採用を示す回答を得られた。また、採用意欲を示した36件に対して質問した、採用可能と思われる人数については、合計で31人となり、本研究科における入学定員15人を上回る採用意欲を示す回答を得られた。

以上の通り、本研究科が養成する人材は、公衆衛生大学院修了者の進路が多様であることと、わが国や自治体による社会的な動向を踏まえていることに加え、アンケート調査の結果から、社会的、地域的に求められる人材であり、修了後の活躍が十分に期待されているものと考えている。

学生の確保の見通し等を記載した書類 別添資料

目次

- 資料 1 関東圏内の公衆衛生大学院の募集状況
- 資料 2 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」設置構想に係る大学生アンケート調査報告書
- 資料 3 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」設置構想に係る社会人アンケート調査報告書
- 資料 4 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」入学意向に関するWEBアンケート調査報告書
- 資料 5 高齢化の状況
- 資料 6 「未病」がつくる健康長寿社会
- 資料 7 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書
- 資料 8 「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（仮称）プレ講座「Introduction to Health Innovation」参加者アンケートの結果」
- 資料 9 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」入学意向に関するWEBアンケートのクロス集計（英語で開講する講義への印象×入学意欲）
- 資料 10 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」入学意向に関するWEBアンケートのクロス集計（英語スコア×入学意欲）

【資料1】関東圏内の公衆衛生大学院の募集状況

資料1

【国立大学】

大学院名	研究科名	課程	専攻	コース等	入学定員	H27			H28			H29		
						志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率
筑波大学大学院	人間総合科学	修士	フロンティア医科学	医科学	50	90	45	90.0%	99	56	112.0%	92	54	108.0%
				公衆衛生学										
				ヒューマン・ケア科学										
東京大学大学院	医学系	専門職学位	公共健康医学	1年コース	30	91	29	96.7%	77	32	106.7%	92	33	110.0%
2年コース														

【私立大学】

大学院名	研究科名	課程	専攻	コース等	入学定員	収容定員	H27		H28		H29	
							在籍者	充足率	在籍者	充足率	在籍者	充足率
帝京大学大学院	公衆衛生学	専門職学位	公衆衛生学	1年コース	10	10	10	100.0%	8	80.0%	13	130.0%
				2年コース			15	75.0%	14	70.0%	24	120.0%

大学院名	研究科名	課程	専攻	コース等	入学定員	H27(春)		H28(春)		H29(春)	
						入学者	充足率	入学者	充足率	入学者	充足率
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント	修士	看護学	看護学	40	35	87.5%	37	92.5%	35	87.5%
			公衆衛生・スポーツ健康科学	公衆衛生学							
				医療マネジメント スポーツマネジメント学							

大学院名	研究科名	課程	専攻	コース等	入学定員	H27			H27			H27					
						志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率	志願者	入学者	充足率			
聖路加国際大学大学院	公衆衛生学	修士	公衆衛生学	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41	35	70.0%

* 各大学HPより参照

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」

設置構想に係る大学生アンケート調査報告書

平成 30 年 1 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	6

添付資料

	「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程 (仮称) 設置構想に係る大学生アンケート調査」 用紙	13
--	---	----

1 調査の概要

- ◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学が平成31年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間：平成29年11月

- ◆調査対象：神奈川県立保健福祉大学に在学する大学生を調査対象とした。

- ◆調査方法：対象である神奈川県立保健福祉大学の在学学生にアンケート用紙を配布の上、回答後に責任者が回収した。

- ◆調査内容：アンケート項目は全10問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報（性別・居住地・学科・学年）について』
『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への評価、受験意欲について』

- ◆配布件数：1,000件
- ◆有効件数：668件（回収件数 677件 / 有効件数率 98.7%）
※問1、問2、問3、問4の無回答者については無効回答とした。

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2～5 ページは、アンケートで回答を得た 668 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	81	12.1%
2	女性	587	87.9%
	計	668	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	神奈川県	639	95.7%
2	東京都	21	3.1%
3	千葉県	1	0.1%
4	埼玉県	1	0.1%
5	その他	6	0.9%
	計	668	100.0%

問3 あなたの所属する学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護学科	187	28.0%
2	栄養学科	152	22.8%
3	社会福祉学科	238	35.6%
4	リハビリテーション学科	91	13.6%
	計	668	100.0%

問4 あなたの学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1年生	221	33.1%
2	2年生	168	25.1%
3	3年生	109	16.3%
4	4年生	170	25.4%
	計	668	100.0%

問5 大学卒業後に志望してる進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 668 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	医療施設・社会福祉施設に就職	524	78.4%
2	一般企業に就職	148	22.2%
3	公務員	201	30.1%
4	大学院へ進学	43	6.4%
5	海外留学	22	3.3%
6	その他	3	0.4%

問6 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	6	0.9%
2	将来、必要を感じた場合には受験したい	147	22.0%
3	受験しない	506	75.7%
	無回答	9	1.3%
	計	668	100.0%

以下の問7～9は、問6で「1. 受験したい」「2. 将来、必要を感じた場合には受験したい」を選択した 153 人が回答対象である。

問7 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 153 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	84	54.9%
2	養成する人材像に共感できるから	20	13.1%
3	希望するキャリアに近づけるから	34	22.2%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	23	15.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	18	11.8%
6	国際的に通用する学位(MPH)が授与されるから	24	15.7%
7	その他	6	3.9%
	無回答	6	3.9%

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	46	30.1%
2	保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント	39	25.5%
3	創薬や新規治療技術の創造に関する専門知識や統計手法	23	15.0%
4	保健医療分野に於けるビジネス戦略やプレゼンテーション等の実践的なスキル	40	26.1%
	無回答	5	3.3%
	計	153	100.0%

問9 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	76	49.7%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	72	47.1%
	無回答	5	3.3%
	計	153	100.0%

以下の問 10 は、問6で「2. 受験しない」を選択した 506 人が回答対象である。

問 10 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 506 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	就職を希望しているから	404	79.8%
2	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	25	4.9%
3	更に詳細を知った上で検討したいから	70	13.8%
4	社会人経験後に進学を検討したいから	22	4.3%
5	通学が不便そうだから	52	10.3%
6	その他	43	8.5%
	無回答	15	3.0%

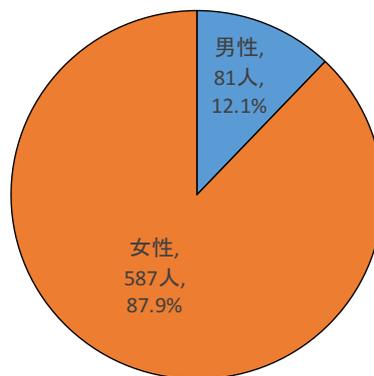
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

- 回答者の約9割が女性、1割が男性。

回答者668人のうち、女性が587人(87.9%)、男性が81人(12.1%)であった。

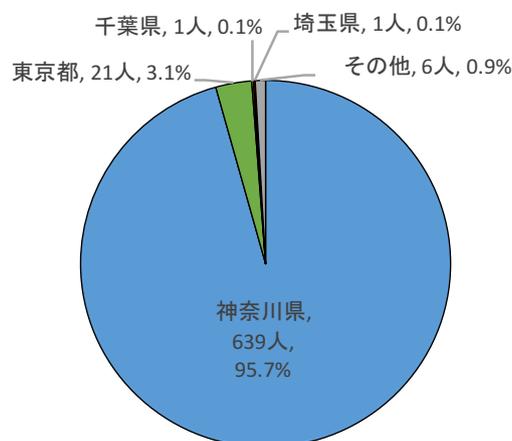
グラフ 回答者の性別 (「問1」結果より)



- ほぼすべての回答者が神奈川県在住者。

回答者668人のうち、95.7%にあたる639人が神奈川県に居住していると回答した。回答対象者が神奈川県立保健福祉大学の在学生であることに加え、同大学が構想する大学院は神奈川県川崎市殿町での設置を予定しており、ほぼすべての回答者が、通学するのに現実的な地域に居住していることから、調査結果の適性は十分に担保している。

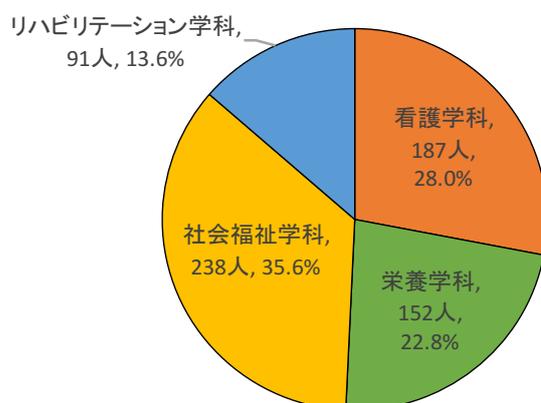
グラフ 回答者の居住地 (「問2」結果より)



● 神奈川県立保健福祉大学の全学科生より回答。

神奈川県立保健福祉大学が設置する全学科（看護学科、栄養学科、社会福祉学科、リハビリテーション学科の 4 学科）に在籍する学生より、回答が得られた。なお、もっとも回答が多い学科は、回答者 668 人のうち、238 人（35.6%）が回答した「社会福祉学科」となっている。

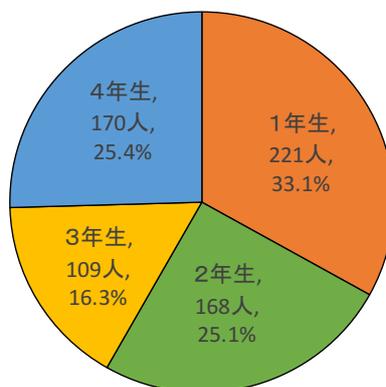
グラフ 回答者が在籍する学科（「問 3」結果より）



● 全学年より回収。回答がもっとも多い学年は「1年生」で3割が回答。

回答者 668 人のうち、33.1%にあたる 221 人が「1年生」で、本調査においてもっとも多い構成となっている。それ以外の学年は、「2年生」が 168 人（25.1%）、「3年生」が 109 人（16.3%）、「4年生」が 170 人（25.4%）となっている。なお、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院は平成 31 年（2019 年）4 月開設であるため、本調査の「3年生」と「4年生」が初年度から、「1年生」と「2年生」が開設後以降の入学が可能である。

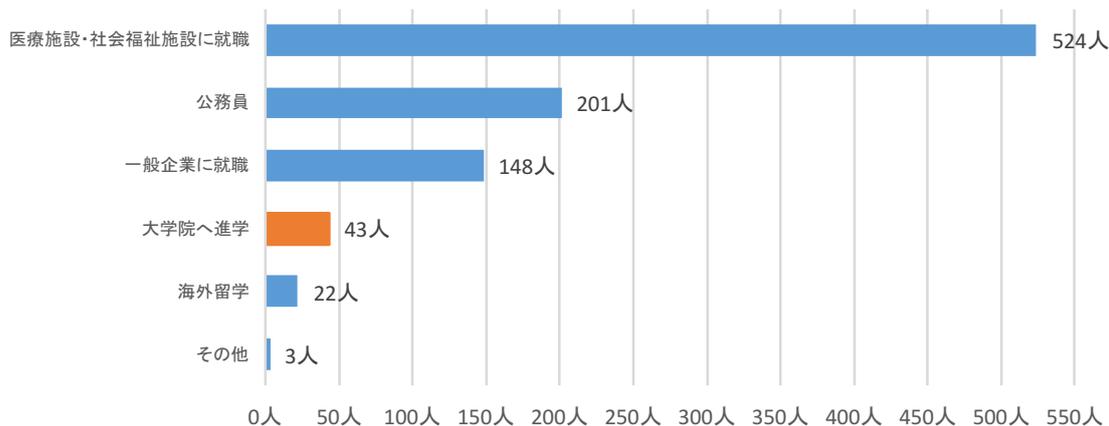
グラフ 回答者の学年（「問 4」結果より）



● 大学卒業後に志望する進路として、1 割弱が「大学院へ進学」と回答。

回答者 668 人に、大学卒業後に志望する進路を複数選択で質問したところ、もっとも多い回答は 78.4%にあたる 524 人が回答した、「医療施設・社会福祉施設に就職」であった。「大学院へ進学」は 6.4%にあたる 43 人が回答した。

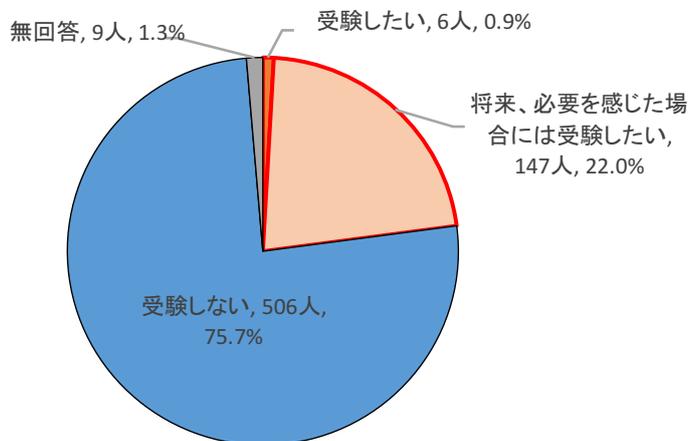
グラフ 大学卒業後に志望する進路（「問 5」結果より） ※複数回答の結果、回答の多い順



● 神奈川県立保健福祉大学が構想する大学院に 6 人が「受験したい」と回答。

回答者 668 人のうち、0.9%にあたる 6 人が、神奈川県立保健福祉大学が構想する大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）を「受験したい」と回答した。また、22.0%にあたる 147 人が「将来、必要性を感じた場合には受験したい」と回答し、合計で 22.9%にあたる 153 人より受験意欲を示す回答を得られた。

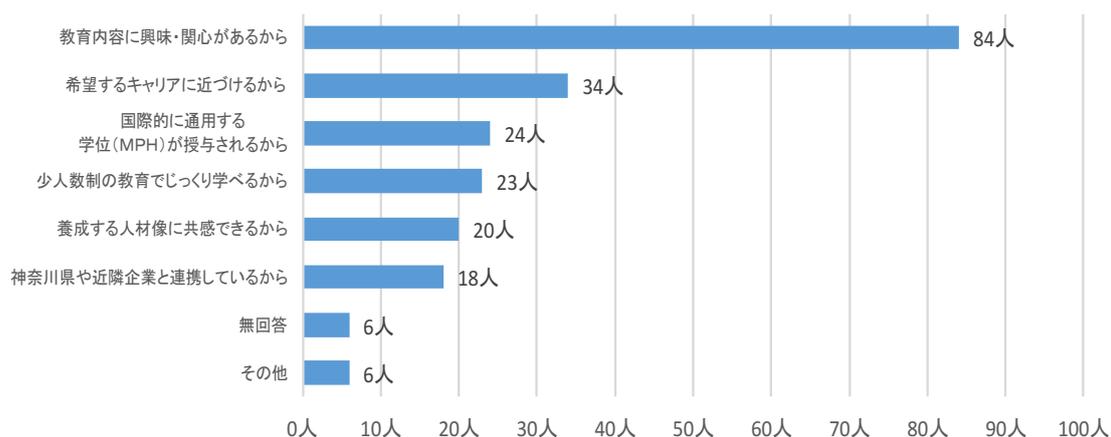
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想する大学院への受験意欲（「問 6」結果より）



● 受験を希望する理由として、「教育内容に興味・関心があるから」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に対して受験意欲を示した 153 人に、その理由について質問したところ、54.9%にあたる 84 人が「教育内容に興味・関心があるから」と回答し、選択肢の中で回答が目立った。(複数回答の結果)

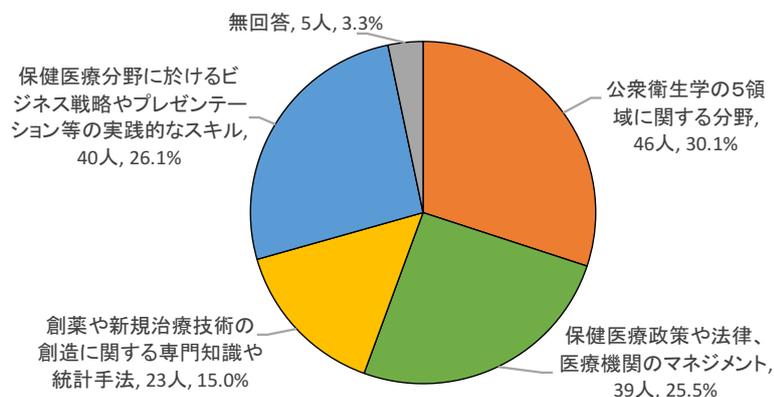
グラフ 受験を希望する理由（「問7」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



● 興味ある教育研究として、3割が「公衆衛生の5領域」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院の教育研究分野として、30.1%にあたる 46 人が「公衆衛生学の5領域に関する分野」と回答し、もっとも多い回答であった。また、「保健医療分野に於けるビジネス戦略やプレゼンテーション等の実践的なスキル」に 40 人 (26.1%)、「保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント」に 39 人 (25.5%) が回答し、以上の3分野においてほぼ同数の回答であった。

グラフ 興味ある教育研究（「問8」結果より）



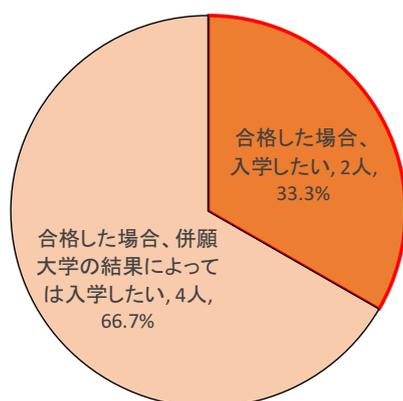
● 3・4年生のうち、1人が構想中の大学院に「入学したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）を「受験したい」と回答した6人に対し、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、2人が「入学したい」と回答、4人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、同大学院への入学意欲を示す回答が得られた。また、「将来、必要性を感じた場合には受験したい」と回答した147人においても、74人が「入学したい」と回答、68人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、同大学院に対し、将来への入学意欲を示す回答を得られた。

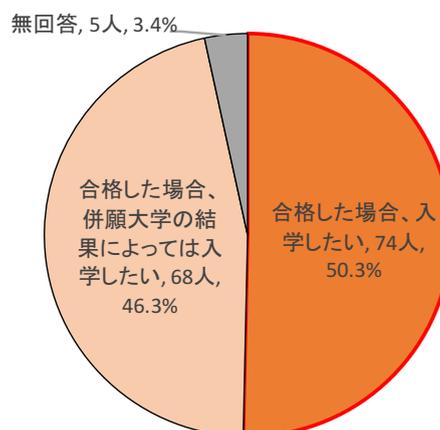
構想中の大学院は平成31年（2019年）4月開設のため、本調査の回答者における初年次での受験・入学が可能となる対象は、3年生と4年生である。そこで、受験意欲と入学意欲の回答を、3・4年生のみで抽出をした。その結果、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を「受験したい」と回答した3・4年生は4人おり、そのうち、1人が「入学したい」と回答、3人が「併願大学の結果によっては、入学したい」と回答し、強い入学意欲を示す回答を得られた。

グラフ 受験意欲別・神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「問9」結果より）

【問6で「受験したい」と回答した6人】



【問6で「将来、必要性を感じた場合には受験したい」と回答した147人】



グラフ 学年別・神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「問9」結果より）

【抽出条件：3・4年生】

選択項目	受験したい		将来、必要を感じた場合には受験したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
入学したい	1	25.0%	42	52.5%
併願大学の結果によっては入学したい	3	75.0%	37	46.3%
無回答	0	0.0%	1	1.3%
合計	4	100.0%	80	100.0%

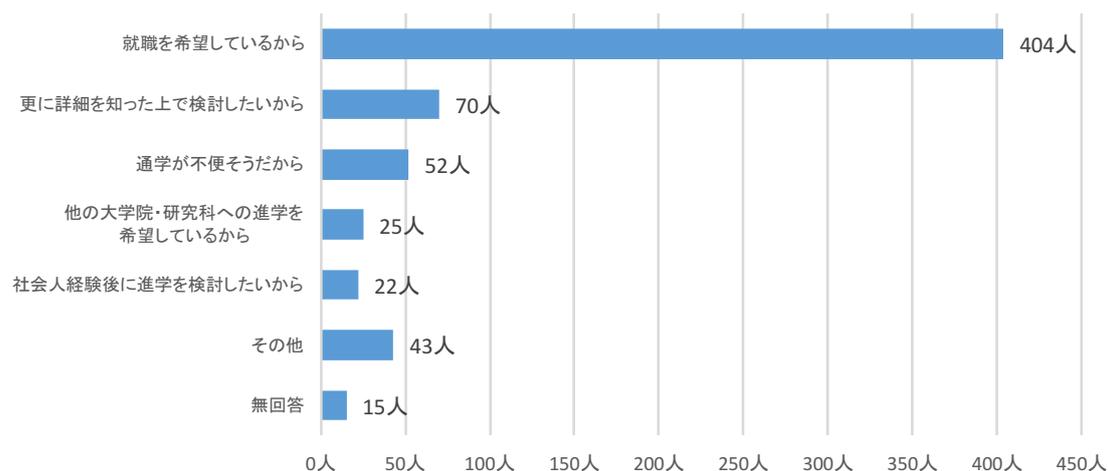
【抽出条件：1・2年生】

選択項目	受験したい		将来、必要を感じた場合には受験したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
入学したい	1	50.0%	32	47.8%
併願大学の結果によっては入学したい	1	50.0%	31	46.3%
無回答	0	0.0%	4	6.0%
合計	2	100.0%	67	100.0%

● 70人が「更に詳細を知った上で検討したいから」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）を「受験しない」と回答した506人にその理由を質問したところ、79.8%にあたる404人が「就職を希望しているから」と回答し、もっとも多い回答であった。また、各項目のうち、13.8%にあたる70人が「更に詳細を知った上で検討したいから」、4.3%にあたる22人が「社会人経験後に進学を検討したいから」と回答しており、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への受験について、可能性を示す回答を得られた。（複数回答の結果）

グラフ 構想中の大学院に受験しない理由（「問10」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



以上の結果より、神奈川県立保健福祉大学が平成31年（2019年）4月に設置構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しは、初年度および将来的に、一定の受験・入学意欲を示す回答を得られたため、学生の確保は十分に可能であると判断できる。

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程
（仮称）設置構想に係る大学生アンケート調査」 用紙

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2019(平成31)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:2年
- 入学定員:15人
- 取得学位:修士(公衆衛生学) ※英訳 Master of Public Health
- 養成する人材像:①科学的根拠に基づき、技術や社会システムの革新などを通じ、保健医療分野における社会的な課題を解決できる能力を身につけた人材
②健康増進や未病対策等、エビデンスに基づく健康寿命延伸に向けた現実的な政策提言や新たな技術開発等を可能とする技術と能力を身につけた人材
③プレゼンテーションやデザイン思考、コンセンサスビルディング、コミュニティ・オーガナイズジングなどイノベーションに向けたあらゆる実務に共通して求められる基礎的なスキルを身につけた人材

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科では、公衆衛生学の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみすえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	保健医療分野におけるイノベーションの基礎となる、未病の考え方や、データサイエンスなどについて学ぶ。
公衆衛生学専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、公共政策学や医療経済学の分野から、保健医療政策とビジネスの基礎に関する知識や手法を学ぶ。
応用科目	保健医療分野におけるテクノロジー、臨床研究、ビジネス・経営等に関する最先端の授業を通じ、保健医療分野におけるイノベーション創造のために必要な知識を学ぶ。
実習・特別研究科目	プレゼンテーションやリーダーシップ論などの実践的なスキルを学ぶほか、学生の興味関心に応じたフィールド実習や課題研究(修士論文)に取り組む。

【研究科の特色】

- 主に夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入。
- 経験豊富な教員による、英語での授業も開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携。

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- 製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融機関、IT関連企業などの従事者
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

研究科の教育と特色

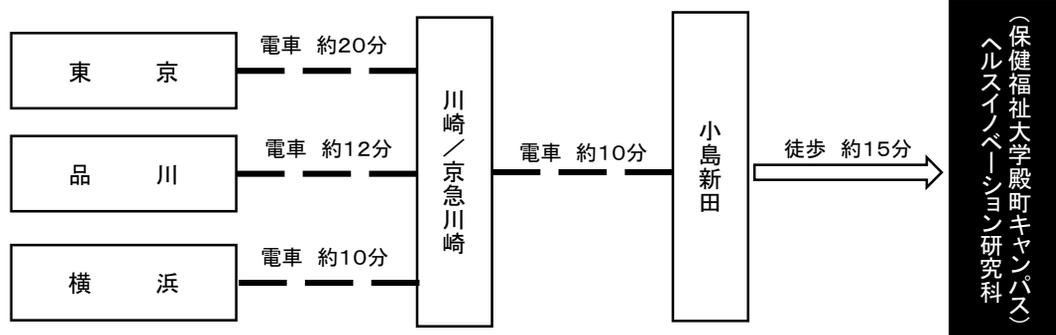
修了後の進路

(円)

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	その他	初年度学費
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科(仮称) 神奈川県川崎市	県内居住者 282,000 県外居住者 564,000	535,800	—	県内居住者 817,800 県外居住者 1,099,800
国立大学大学院	282,000	535,800	—	817,800
帝京大学大学院 公衆衛生学研究所 東京都板橋区	250,000	560,000	210,000	1,020,000
慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 神奈川県藤沢市	0	1,570,000	70,600	1,640,600
聖路加国際大学 公衆衛生大学院 東京都中央区	400,000	1年コース	300,000	2,400,000
		2年コース		1,900,000
		3年コース		1,500,000

※ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)の学費は予定です。
 ※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2017年6月時点)。
 ※その他、諸会費が必要な場合があります。

国際戦略特区(※)に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。(住所:川崎市川崎区殿町3丁目地区)



(※)ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

左記・上記の概要をご覧の上、質問にお答えください。

問6

あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 受験したい
 2. 将来、必要を感じた場合には受験したい
 3. 受験しない
- 1・2の方は **問7** **問8** **問9** にお答えください。
- 3の方は **問10** にお答えください。

4ページにも質問がございます。

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」

設置構想に係る社会人アンケート調査報告書

平成 30 年 1 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	6

添付資料

	「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程 (仮称) 設置構想に係る社会人アンケート調査」用紙	12
--	---	----

1 調査の概要

- ◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学が平成31年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間：平成29年10月

- ◆調査対象：神奈川県が企画・実施した、「県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（仮称）プレ講座」の受講生を調査対象とした。

- ◆調査方法：対象である講座受講生にアンケート用紙を配布の上、回答後に責任者が回収した。

- ◆調査内容：アンケート項目は全10問で、9問が選択肢式、1問が記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。
 - 『回答者の基本情報（性別・居住地・職業・最終学歴）について』
 - 『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への評価、受験意欲について』

- ◆配布件数：80件
- ◆有効件数：52件（回収件数 53件 / 有効件数率 98.1%）
※問3の無回答者については無効回答とした。

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

2～5 ページは、アンケートで回答を得た 52 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	30	57.7%
2	女性	22	42.3%
	計	52	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	神奈川県	26	50.0%
2	東京都	18	34.6%
3	千葉県	4	7.7%
4	埼玉県	4	7.7%
5	その他	0	0.0%
	計	52	100.0%

問3 あなたの年齢をお答えください。(枠内に記入)

※ 記述のあった回答を以下の区分にて集計した。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	18-20 歳	1	1.9%
2	21-25 歳	4	7.7%
3	26-30 歳	4	7.7%
4	31-35 歳	8	15.4%
5	36-40 歳	6	11.5%
6	41-45 歳	11	21.2%
7	46-50 歳	6	11.5%
8	51-55 歳	7	13.5%
9	55-60 歳	4	7.7%
10	60 歳以上	1	1.9%
	計	52	100.0%

問4 あなたの職業をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社員(一般社員)	10	19.2%
2	会社員(管理職)	9	17.3%
3	会社経営者・役員	5	9.6%
4	公務員・教職員・団体職員	7	13.5%
5	医師・獣医師	1	1.9%
6	薬剤師	2	3.8%
7	看護師・保健師・助産師	5	9.6%
8	その他の医療職	4	7.7%
9	医療機関事務職	0	0.0%
10	学生	8	15.4%
11	その他	1	1.9%
	計	52	100.0%

問5 あなたの最終学歴(在学中の方は見込み含む)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	高校卒	3	5.8%
2	専門学校卒	2	3.8%
3	短期大学卒	2	3.8%
4	高専卒	0	0.0%
5	大学卒	26	50.0%
6	大学院(修士)卒	12	23.1%
7	大学院(博士)卒	5	9.6%
8	その他	2	3.8%
	計	52	100.0%

問6 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	25	48.1%
2	受験したくない	26	50.0%
	無回答	1	1.9%
	計	52	100.0%

以下の問7、問8は、問6で「1. 受験したい」を選択した 25 人が回答対象である。

問7 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 25 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	21	84.0%
2	養成する人材像に共感できるから	11	44.0%
3	希望するキャリアに近づけるから	9	36.0%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	8	32.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	5	20.0%
6	国際的に通用する学位(MPH)が授与されるから	5	20.0%
7	その他	4	16.0%

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	5	20.0%
2	保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント	4	16.0%
3	創薬や新規治療技術の創造に関する専門知識や統計手法	4	16.0%
4	保健医療分野に於けるビジネス戦略やプレゼンテーション等の実践的なスキル	9	36.0%
	無回答	3	12.0%
	計	25	100.0%

問9 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	19	76.0%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	3	12.0%
	無回答	3	12.0%
	計	25	100.0%

以下の問 10 は、問6で「2. 受験しない」を選択した 26 人が回答対象である。

問 10 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答 26 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学院に通う余裕がないから	6	23.1%
2	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	2	7.7%
3	更に詳細を知った上で検討したいから	9	34.6%
4	数年後に進学を検討したいから	6	23.1%
5	通学が不便そうだから	2	7.7%
6	その他	9	34.6%
	無回答	2	7.7%

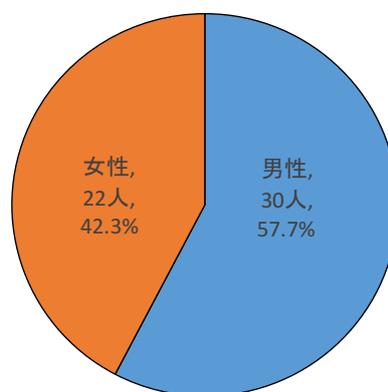
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

- 回答者の 6 割が男性、4 割が女性。

回答者 52 人のうち、男性が 30 人 (57.7%)、女性が 22 人 (42.3%) であった。

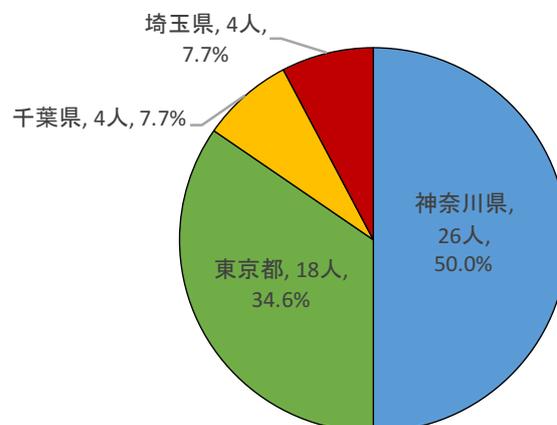
グラフ 回答者の性別 (「問1」結果より)



- 回答者の 5 割が神奈川県に居住、約 3 割が東京都に居住。

回答者 52 人のうち、50.0%にあたる 26 人が「神奈川県」、34.6%にあたる 18 人が「東京都」に居住していると回答した。神奈川県立保健福祉大学が構想する大学院は、神奈川県川崎市殿町での設置を予定しており、本調査の回答者の 8 割が、同キャンパスに比較的近い地域の居住者となっている。

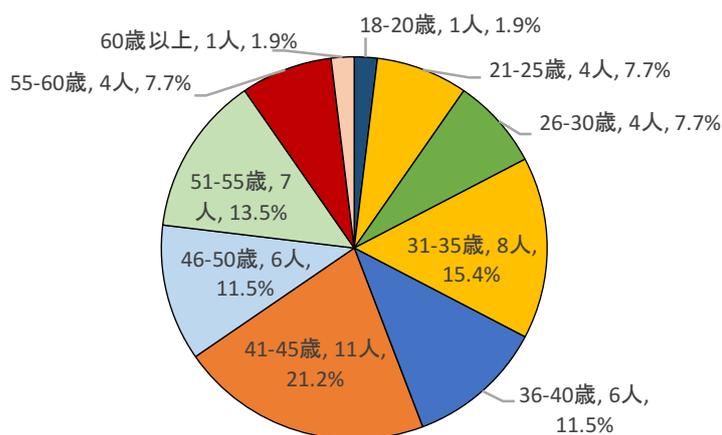
グラフ 回答者の居住地 (「問2」結果より)



- 幅広い年齢層からの回答の中、もっとも多いのは「41-45歳」で全体の2割。

回答者 52 人の年齢構成を、18 歳から 60 歳以上の 10 区分に分けると、「41-45 歳」がもっとも多く、11 人（21.2%）であった。回答者が 1 人であった「18-20 歳」と「60 歳以上」を除く 8 区分にて複数回答があり、幅広い年齢における回答者での構成となっている。

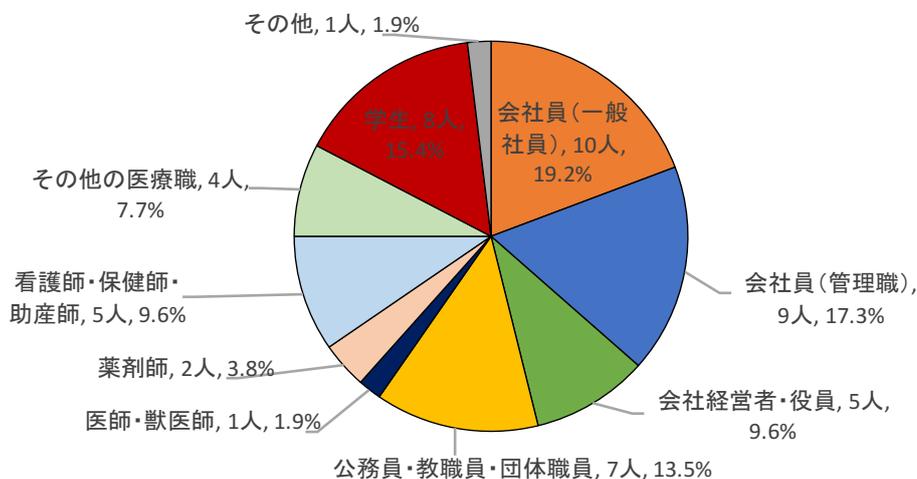
グラフ 回答者の年齢（「問3」結果より）



- 回答者の約 4 割が「会社員」。

回答者 52 人のうち、もっとも多い職業は「会社員（一般社員）」で 10 人（19.2%）が回答した。また、「会社員（管理職）」も 9 人が回答しており、36.5%にあたる 19 人が会社員となっている。なお、設定した 11 項目のうち、10 項目に回答があり、様々な職業による回答結果となっている。

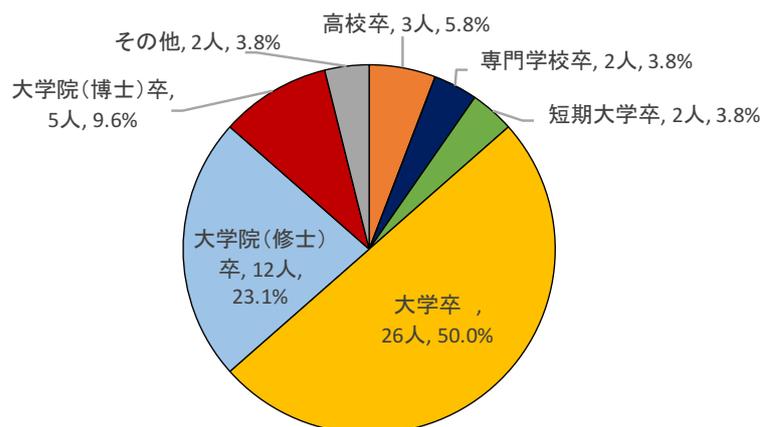
グラフ 回答者の職業（「問4」結果より）



● 回答者の半数が「大学卒」。

回答者 52 人のうち、もっとも多い最終学歴は「大学卒」で 50.0%にあたる 26 人であった。また、「大学院（修士）卒」が 2 番目に多く、12 人（23.1%）であった。

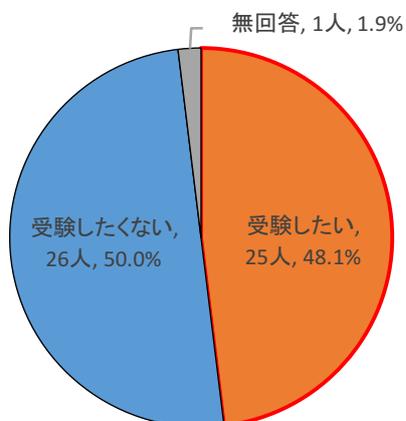
グラフ 回答者の学歴（「問 5」結果より）



● 神奈川県立保健福祉大学が構想する大学院を 25 人が「受験する」と回答。

回答者 52 人のうち、48.1%にあたる 25 人が、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）を「受験したい」と回答した。

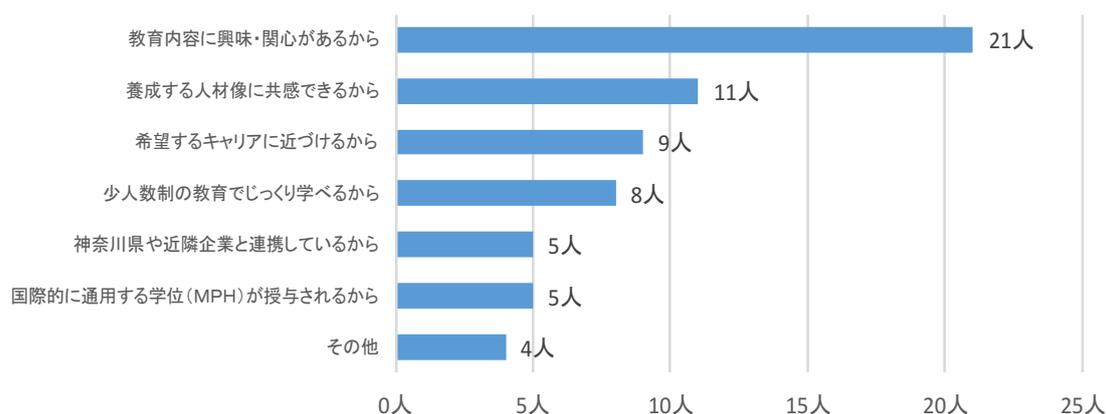
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への受験意欲（「問 6」結果より）



● 受験を希望する理由として、「教育内容に興味・関心があるから」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した 25 人に、その理由について質問したところ、84.0%にあたる 21 人が「教育内容に興味・関心があるから」と回答し、選択肢の中で回答が目立った。（複数回答の結果）

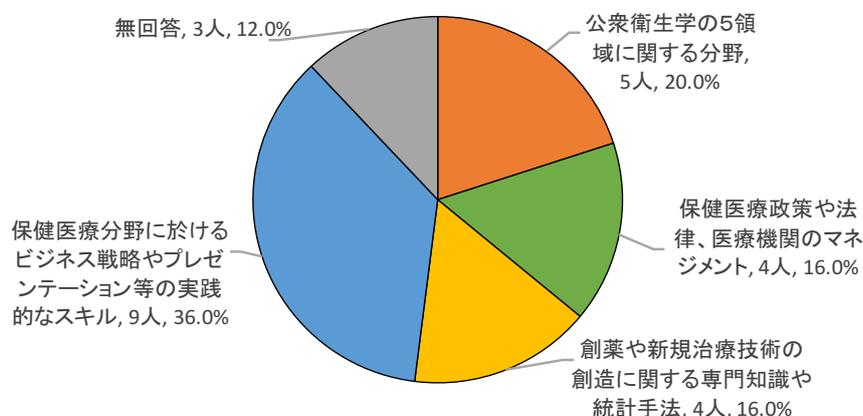
グラフ 受験を希望する理由（「問7」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



● 興味ある教育研究として、約 4 割が「実践的なスキル」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院の教育研究分野として、36.0%にあたる 9 人が「保健医療分野に於けるビジネス戦略やプレゼンテーション等の実践的なスキル」と回答し、4 つの選択肢の中で、回答が目立った。

グラフ 興味ある教育研究（「問8」結果より）

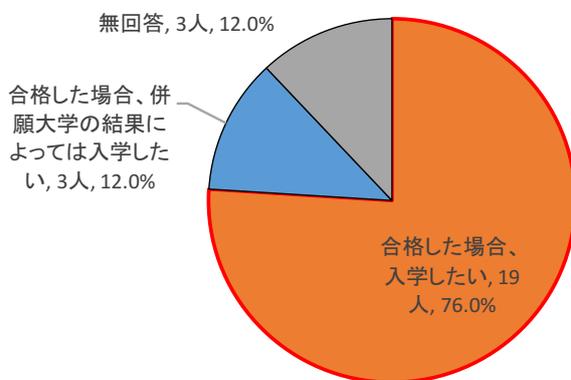


● 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に、19人が「入学したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した25人のうち、76.0%にあたる19人が「合格した場合、入学したい」と回答し、予定する入学定員15人を上回る入学意欲を示す回答が得られた。

また、入学意欲を示した19人を職業別でみると、「会社員（一般社員）」、「会社員（管理職）」、「会社経営者・役員」、「看護師・保健師・助産師」でそれぞれ3人が入学意欲を示したのをはじめ、それ以外の職業でも入学意欲を示す回答が得られた。

グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「問9」結果より）



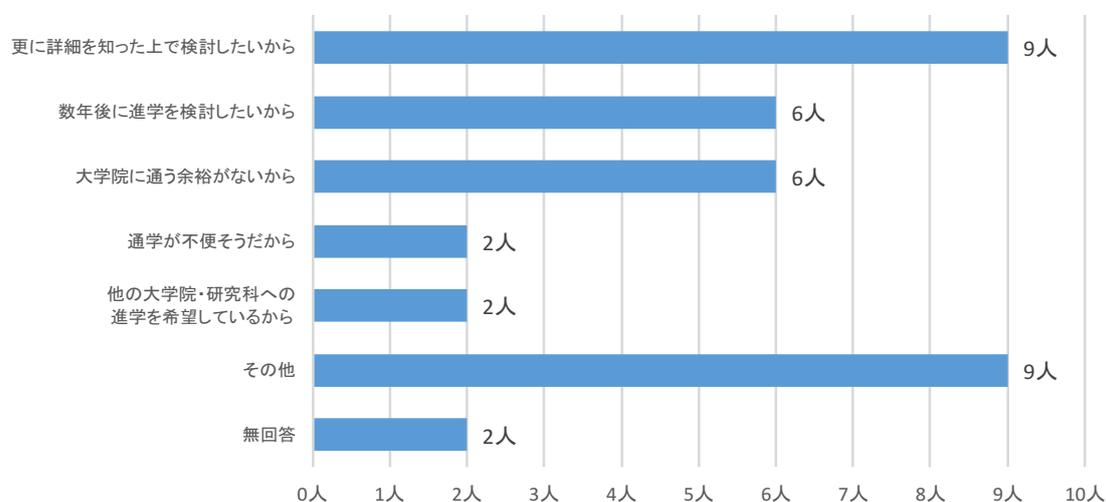
グラフ 職業別・神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「問4」と「問9」結果より）

年齢	合格した場合、入学したい		併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
会社員（一般社員）	3	15.8%	1	33.3%
会社員（管理職）	3	15.8%	1	33.3%
会社経営者・役員	3	15.8%	0	0.0%
公務員・教職員・団体職員	1	5.3%	0	0.0%
医師・獣医師	1	5.3%	0	0.0%
薬剤師	1	5.3%	0	0.0%
看護師・保健師・助産師	3	15.8%	0	0.0%
その他の医療職	2	10.5%	1	33.3%
学生	2	10.5%	0	0.0%
合計	19	100.0%	3	100.0%

● 9人が「更に詳細を知った上で検討したいから」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）を「受験しない」と回答した26人にその理由を質問したところ、もっとも多い9人が「更に詳細を知った上で検討したいから」と回答しており、同大学院への受験について、可能性を示す回答を得られた。（複数回答の結果）

グラフ 構想中の大学院に受験しない理由（「問10」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



以上の結果より、神奈川県立保健福祉大学が平成31年（2019年）4月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しは、入学意欲を示す回答が予定する入学定員を上回ったため、学生の確保は十分に可能であると判断できる

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程
（仮称）設置構想に係る社会人アンケート調査」 用紙

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2019(平成31)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:2年
- 入学定員:15人
- 取得学位:修士(公衆衛生学) ※英訳 Master of Public Health
- 養成する人材像:①科学的根拠に基づき、技術や社会システムの革新などを通じ、保健医療分野における社会的な課題を解決できる能力を身につけた人材
②健康増進や未病対策等、エビデンスに基づく健康寿命延伸に向けた現実的な政策提言や新たな技術開発等を可能とする技術と能力を身につけた人材
③プレゼンテーションやデザイン思考、コンセンサスビルディング、コミュニティ・オーガナイズジングなどイノベーションに向けたあらゆる実務に共通して求められる基礎的なスキルを身につけた人材

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科では、公衆衛生学の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみすえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	保健医療分野におけるイノベーションの基礎となる、未病の考え方や、データサイエンスなどについて学ぶ。
公衆衛生学専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、公共政策学や医療経済学の分野から、保健医療政策とビジネスの基礎に関する知識や手法を学ぶ。
応用科目	保健医療分野におけるテクノロジー、臨床研究、ビジネス・経営等に関する最先端の授業を通じ、保健医療分野におけるイノベーション創造のために必要な知識を学ぶ。
実習・特別研究科目	プレゼンテーションやリーダーシップ論などの実践的なスキルを学ぶほか、学生の興味関心に応じたフィールド実習や課題研究(修士論文)に取り組む。

【研究科の特色】

- 主に夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入。
- 経験豊富な教員による、英語での授業も開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携。

研究科の教育と特色

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- ビジネスパーソン(製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融、ITなど)
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

卒業後の進路

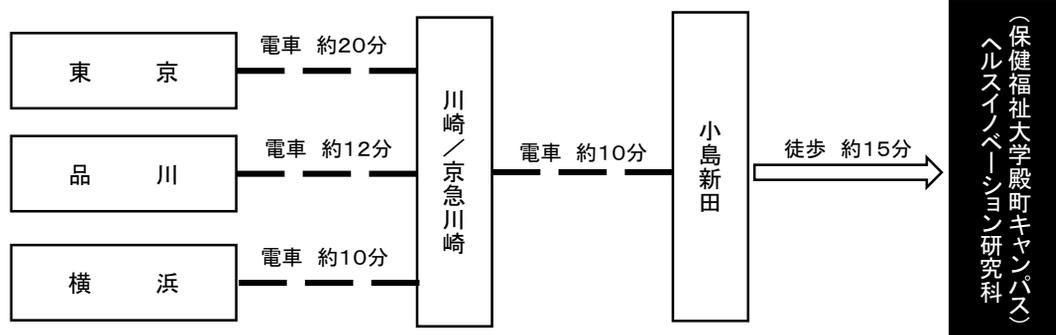
※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

(円)

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	その他	初年度学費
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科(仮称) 神奈川県川崎市	県内居住者 282,000 県外居住者 564,000	535,800	—	県内居住者 817,800 県外居住者 1,099,800
国立大学大学院	282,000	535,800	—	817,800
帝京大学大学院 公衆衛生学研究所 東京都板橋区	250,000	560,000	210,000	1,020,000
慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 神奈川県藤沢市	0	1,570,000	70,600	1,640,600
聖路加国際大学 公衆衛生大学院 東京都中央区	400,000	1年コース	300,000	2,400,000
		2年コース		1,900,000
		3年コース		1,500,000

※ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)の学費は予定です。
 ※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2017年6月時点)。
 ※その他、諸会費が必要な場合があります。

国際戦略特区(※)に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。(住所:川崎市川崎区殿町3丁目地区)



(※)ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

左記・上記の概要をご覧の上、質問にお答えください。

問6

あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 受験したい → 1の方は **問7** **問8** **問9** にお答えください。
2. 受験しない → 2の方は **問10** にお答えください。

4ページにも質問がございます。

問7

神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」を受験をしたい理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 教育内容に興味・関心があるから
2. 養成する人材像に共感できるから
3. 希望するキャリアに近づけるから
4. 少人数制の教育でじっくり学べるから
5. 神奈川県や近隣企業と連携しているから
6. 国際的に通用する学位（MPH）が授与されるから
7. その他（ ）

問8

神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 公衆衛生学の5領域（疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学）に関する分野
2. 保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント
3. 創薬や新規治療技術の創造に関する専門知識や統計手法
4. 保健医療分野におけるビジネス戦略やプレゼンテーション等の実践的なスキル

問9

あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」に合格した場合、入学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 合格した場合、入学したい
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

以下の問10は、問6で「2. 受験しない」と回答した方がお答えください。

問10

あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 大学院に通う余裕がないから
2. 他の大学院・研究科への進学を希望しているから
3. 更に詳細を知った上で検討したいから
4. 数年後に進学を検討したいから
5. 通学が不便そうだから
6. その他（ ）

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」

入学意向に関する **WEB** アンケート調査報告書

平成 30 年 1 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	10

添付資料

WEB アンケートの質問画面

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学が平成31年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：平成29年11月

◆調査対象：神奈川県・東京都に在住する、最終学歴が大学卒もしくは大学院卒の社会人を対象に、インターネット調査会社（株式会社クロス・マーケティング）協力のもと、アンケートを実施。調査対象者の選定条件は以下の通り。

調査会社に登録するモニターのうち、配信後期間内（1週間）に回答があった者の中から、

- ・年齢：22歳から59歳
- ・最終学歴：大学卒および大学院卒
- ・居住地：神奈川県もしくは東京都

以上の条件に適合した8,007人のうち、

- (1) “健康の増進”や“疾病の予防”等に関する学問に興味がある
- (2) 大学院への進学に興味がある
- (3) 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した800人が本質問の回答対象となっている。

◆調査方法：インターネットを利用したアンケートで、回答者はパソコンおよびタブレットなどを使用して回答。

◆調査内容：アンケート項目はスクリーニング8問、対象者限定の10問、全18問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下の通りである。

『回答者の基本情報（性別・居住地・職業）について』

『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への入学意欲について』

◆調査件数：8,007件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2～9 ページは、アンケートで回答を得た 8,007 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

SC1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	女性	4,712	58.8%
2	男性	3,295	41.2%
	計	8,007	100.0%

SC2 あなたの年齢をお答えください。

※ 回答結果を以下の区分で集計した

番号	選択項目	回答数	構成比
1	22～25 歳	443	5.5%
2	26～30 歳	982	12.3%
3	31～35 歳	1,159	14.5%
4	36～40 歳	1,335	16.7%
5	41～45 歳	992	12.4%
6	46～50 歳	1,207	15.1%
7	51～55 歳	1,058	13.2%
8	56～59 歳	831	10.4%
	計	8,007	100.0%

SC3 あなたの職業をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社勤務(一般社員)	3,275	40.9%
2	会社勤務(管理職)	945	11.8%
3	会社経営者・役員	183	2.3%
4	公務員・教職員・非営利団体職員	487	6.1%
5	医師・獣医師	54	0.7%
6	薬剤師	32	0.4%

7	看護師・保健師・助産師	28	0.3%
8	その他の医療職	28	0.3%
9	医療機関の事務職	16	0.2%
10	派遣社員・契約社員	360	4.5%
11	自営業(商工サービス)	295	3.7%
12	SOHO	97	1.2%
13	農林漁業	4	0.0%
14	専門職(弁護士・税理士等)	78	1.0%
15	パート・アルバイト	601	7.5%
16	専業主婦	829	10.4%
17	大学生・大学院生	150	1.9%
18	無職	338	4.2%
19	その他の職業	207	2.6%
	計	8,007	100.0%

SC4 あなたの最終学歴をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	中学卒	0	0.0%
2	高校卒	0	0.0%
3	専門学校卒	0	0.0%
4	短大卒	0	0.0%
5	高専卒	0	0.0%
6	大学卒	7,047	88.0%
7	大学院卒	960	12.0%
8	上記以外	0	0.0%
	計	8,007	100.0%

SC5 あなたのお住まいをお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
	東京都	5,162	64.5%
	神奈川県	2,845	35.5%
	計	8,007	100.0%

SC6 あなたは“健康の増進”や“疾病の予防”等に関する学問に興味はありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	興味はある	5,079	63.4%
2	興味はない	2,928	36.6%
	計	8,007	100.0%

以下の SC7は、SC6で「1. 興味はある」を選択した 5,079 人が回答対象である。

SC7 あなたは大学院への進学等に興味はありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	興味はある	1,907	37.5%
2	興味はない	3,172	62.5%
	計	5,079	100.0%

以下の SC8は、SC7で「1. 興味はある」を選択した 1,907 人が回答対象である。

SC8 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	800	42.0%
2	受験しない	1,107	58.0%
	計	1,907	100.0%

以下の Q1 以降は、SC8で「1. 受験したい」を選択した 800 人が回答対象である。

Q1 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 800 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	483	60.4%
2	養成する人材像に共感できるから	202	25.3%
3	希望するキャリアに近づけるから	203	25.4%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	152	19.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	120	15.0%
6	国際的に通用する学位(MPH)が授与されるから	155	19.4%
7	その他	54	6.8%

Q2 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	332	41.5%
2	保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント	260	32.5%
3	創薬や新規治療技術の創造に関する専門知識や統計手法	91	11.4%
4	保健医療分野におけるビジネス戦略や、アントレプレナーシップ	117	14.6%
	計	800	100.0%

Q3 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」の特長の中で、興味があるものを教えてください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 800 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	主に平日夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮されている点	446	55.8%
2	通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入される点	356	44.5%
3	経験豊富な教員による、英語での授業も開講される点	188	23.5%
4	少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポートされる点	204	25.5%
5	神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携される点	168	21.0%

Q4 あなたが将来活躍したいと考えるフィールドを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ビジネスパーソン	285	35.6%
2	公的機関の職員	197	24.6%
3	研究者	106	13.3%
4	保健医療機関の従事者、管理経営者	140	17.5%
5	その他	72	9.0%
	計	800	100.0%

Q5 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」では、日本語・英語両方での授業実施を検討しています。英語で開講される講義への印象について教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	自身の英語力に関わらず、積極的に履修したい	304	38.0%
2	英語力に自信はないが、出来る限り履修したい	340	42.5%
3	英語力に自信がないので、出来る限り履修しない	122	15.3%
4	その他	34	4.3%
	計	800	100.0%

Q6 海外からの留学生が参画する環境について、あなたの考えを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	非常によいと思う	310	38.8%
2	よいと思う	337	42.1%
3	やや不安に思う	107	13.4%
4	不安に思う	46	5.8%
	計	800	100.0%

Q7-1 現在のあなたのTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	10～395	36	4.5%
2	400～495	63	7.9%
3	500～595	105	13.1%
4	600～695	141	17.6%
5	700～795	82	10.3%
6	800～895	66	8.3%
7	900～990	33	4.1%
8	受験したことがない	274	34.3%
	計	800	100.0%

Q7-2 現在のあなたのTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～49	16	2.0%
2	50～55	8	1.0%
3	56～60	14	1.8%
4	61～65	30	3.8%
5	66～70	48	6.0%
6	71～75	45	5.6%
7	76～80	32	4.0%
8	81～85	28	3.5%
9	86～90	21	2.6%
10	91～95	15	1.9%
11	96～100	8	1.0%
12	100～120	18	2.3%
13	受験したことがない	517	64.6%
	計	800	100.0%

Q8 あなたが大学院の科目の中で短期間のフィールド実習を受講するとした場合、希望する実習先について教えてください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 800 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	企業(国内)	407	50.9%
2	企業(海外)	158	19.8%
3	公的機関(国内)	333	41.6%
4	公的機関(海外)	140	17.5%
5	研究機関(国内)	237	29.6%
6	研究機関(海外)	96	12.0%
7	医療関連施設(国内)	189	23.6%
8	医療関連施設(海外)	87	10.9%
9	その他	58	7.3%

Q9 あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 800 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	疫学	208	26.0%
2	生物統計学	187	23.4%
3	社会行動科学	240	30.0%
4	環境保健学	187	23.4%
5	保健医療管理学	187	23.4%
6	ビジネス戦略	195	24.4%
7	ヘルスケアテクノロジー	193	24.1%
8	データサイエンス	131	16.4%
9	防災	106	13.3%
10	都市計画	143	17.9%
11	母子保健	84	10.5%
12	レギュラトリーサイエンス	46	5.8%
13	国際保健	99	12.4%
14	医療政策	129	16.1%
15	栄養・食品	165	20.6%
16	プレゼンテーション	89	11.1%

17	リーダーシップ論	81	10.1%
18	バイオデザイン	70	8.8%
19	その他	53	6.6%

Q10 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	551	68.9%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	249	31.1%
	計	800	100.0%

3 集計結果のポイント

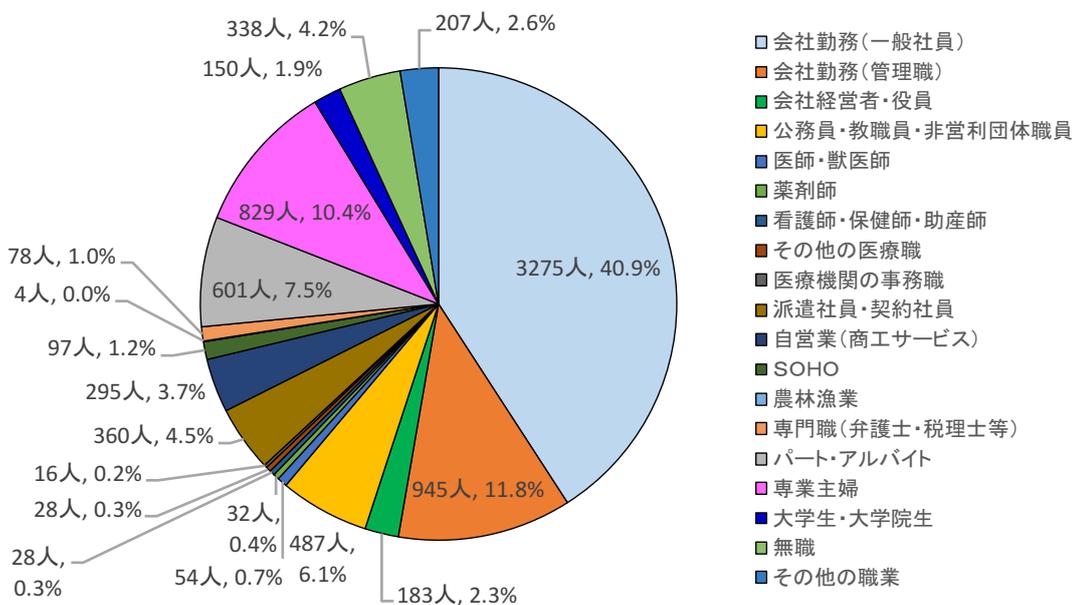
※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 全回答者のうち、10%にあたる 800 人が受験意欲を示す。

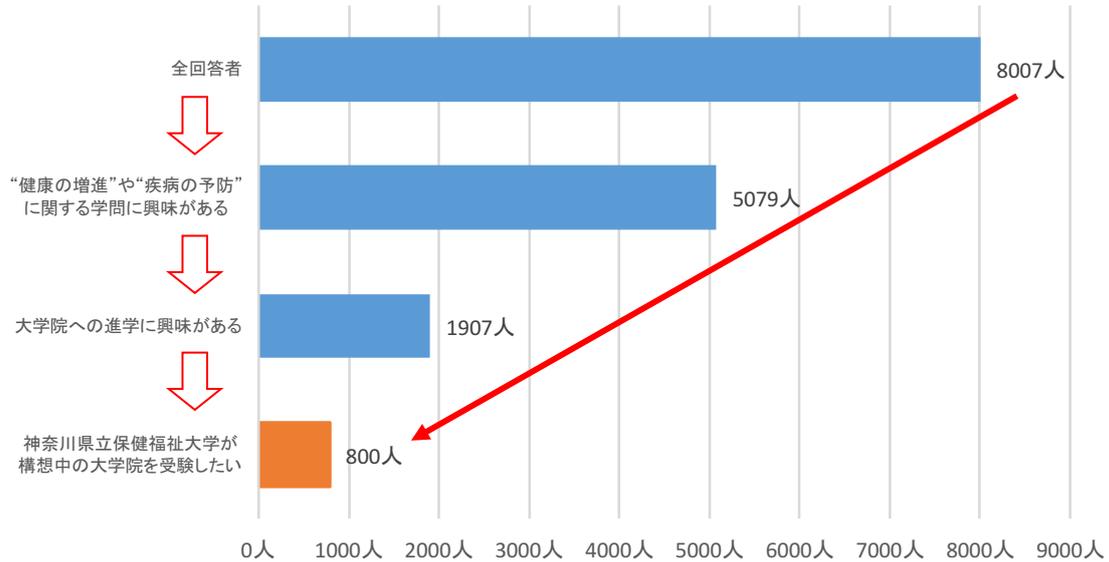
本調査はインターネットを利用し、神奈川県および東京都に居住する社会人を対象にアンケートを実施した。回答者は①22歳から59歳、②最終学歴が大学卒および大学院卒、③居住地が神奈川県もしくは東京都、以上の条件に適合した8,007人である。なお、8,007人を職業別で見ると、「会社勤務（一般社員）」がもっとも多く、40.9%にあたる3,275人となっている。それ以外では、「会社員勤務（管理職）」で945人（11.8%）、「専業主婦」で829人（10.4%）の割合が高い構成となっている。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への受験意欲をより明確にするため、回答者8,007人には、“健康の増進”や“疾病の予防”等に関する学問に興味があるか質問したところ、63.4%にあたる5,079人が「興味はある」と回答した。この5,079人には、大学院進学への興味について質問したが、5,079人のうち、37.5%にあたる1,907人が「興味がある」と回答した。さらに、この1,907人に対して神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）への受験意欲を質問したところ、1,907人のうち、42.0%にあたる800人が「受験したい」と回答しており、全回答者8,007人の10.0%にあたる回答者から受験意欲を示す回答が得られた。

グラフ 回答者の職業（「SC3」結果より）



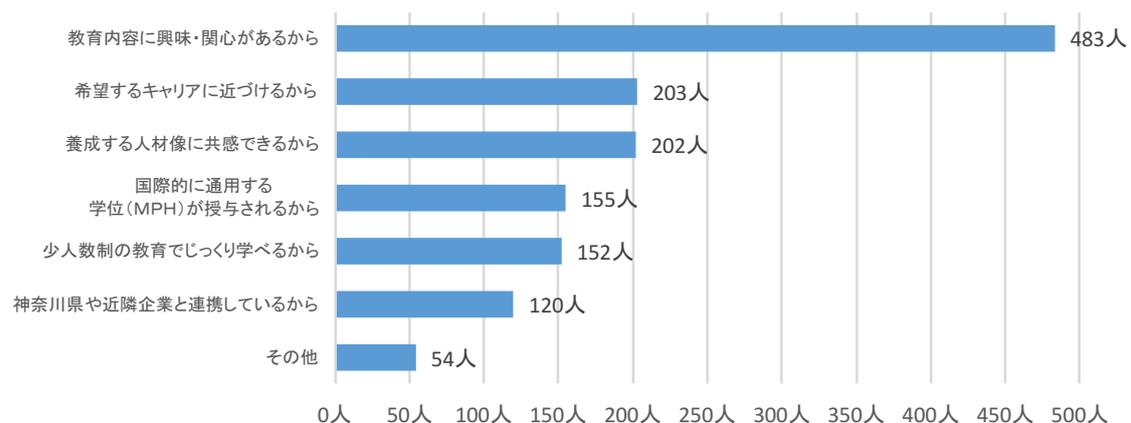
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への受験意欲（「SC8」結果より）



● 受験を希望する理由として、「教育内容に興味・関心があるから」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した 800 人に、その理由について質問したところ、60.4%にあたる 483 人が「教育内容に興味・関心があるから」と回答し、選択肢の中で回答が目立った。（複数回答の結果）

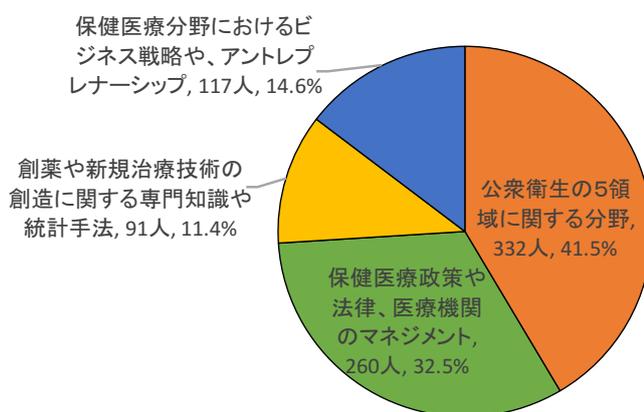
グラフ 受験を希望する理由（「Q1」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



● 興味ある教育研究は、「公衆衛生の5領域」と「政策や法律、マネジメント」。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院の教育研究分野として、41.5%にあたる 332 人が「公衆衛生の5領域に関する分野」、32.5%にあたる 260 人が「保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント」と回答し、4つの選択肢の中で、回答が目立った。

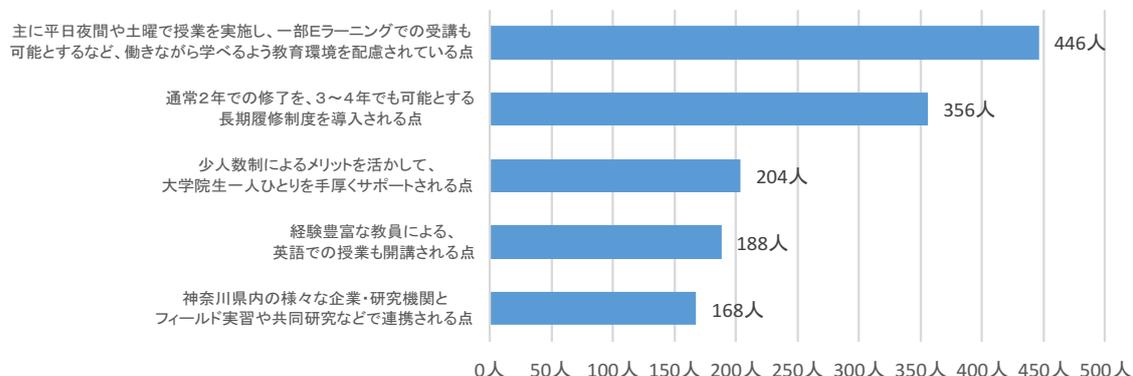
グラフ 興味ある教育研究（「Q2」結果より）



● 興味ある特長に、約半数が「教育環境への配慮」と「長期履修制度の導入」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した 800 人に、興味ある特長を質問したところ、446 人（55.8%）が「主に平日夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮されている点」、356 人（44.5%）が「通常2年での修了を、3～4年でも可能とする長期履修制度を導入される点」を回答し、5つの選択肢の中で、回答が目立った。（複数回答の結果）

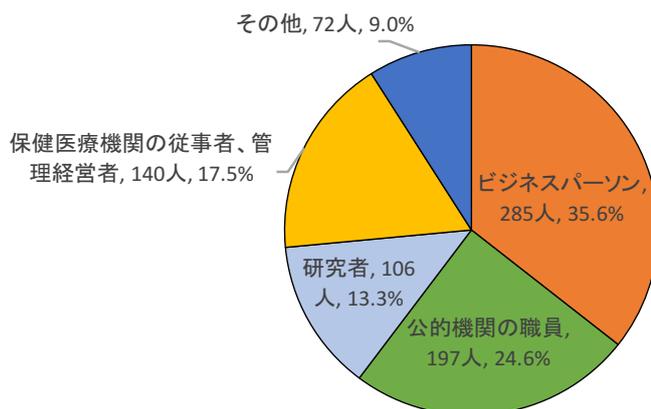
グラフ 興味ある特長（「Q3」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



- 約3割が、将来活躍したい場として「ビジネスパーソン」と「公的機関の職員」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した800人に、将来活躍したいフィールドを質問したところ、35.6%にあたる285人が「ビジネスパーソン」。24.6%にあたる197人が「公的機関の職員」と回答し、4つの選択肢の中で、回答が目立った。

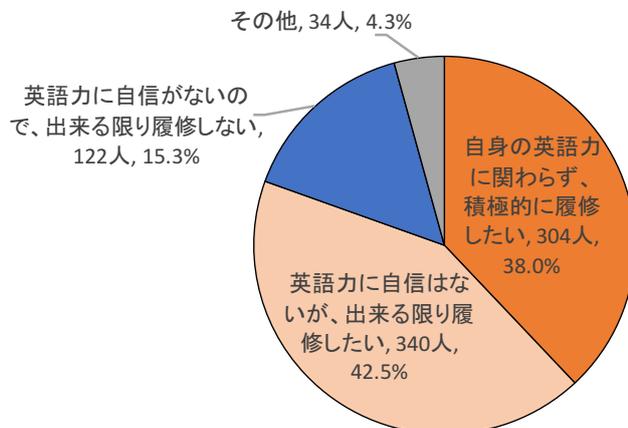
グラフ 将来活躍したいフィールド（「Q4」結果より）



- 8割が英語で開講される講義を「履修したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した800人のうち、英語で開講される講義への印象として、304人（38.0%）が「自身の英語力に関わらず、積極的に履修したい」、340人（42.5%）が「英語力に自信はないが、出来る限り履修したい」と回答し、全体の80.5%が履修したい意向を示した。

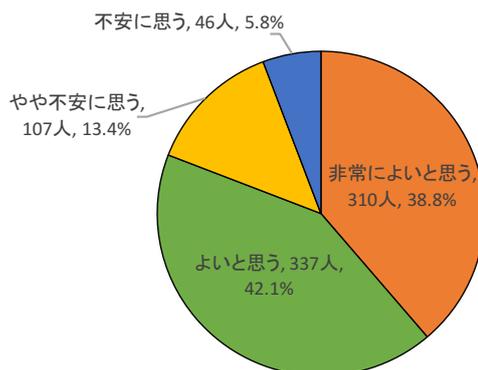
グラフ 英語で開講される講義への印象（「Q5」結果より）



● 8割が、海外留学生が参画する環境について、「良い」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した 800 人のうち、海外留学生が参画する環境について、310 人 (38.8%) が「非常によいと思う」、337 人 (42.1%) が「よいと思う」と回答し、全体の 80.9% が好感を示した。

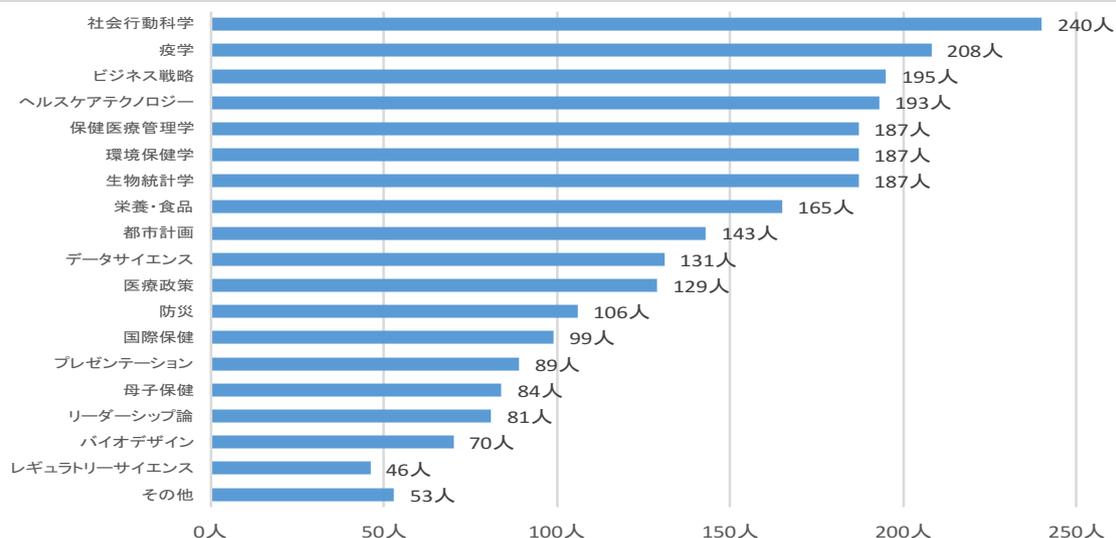
グラフ 海外留学生が参画する環境への印象（「Q6」結果より）



● 約 3 割が関心のある分野として、「社会行動科学」と「疫学」を選択。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した 800 人に、特に関心のある分野を複数回答にて質問したところ、240 人 (30.0%) が「社会行動科学」、208 人 (26.0%) が「疫学」を選択し、19 の選択肢の中で回答が目立った。また、「保健医療管理学」、「環境保健学」、「生物統計学」も 20% 以上の回答があり、公衆衛生の 5 領域が上位に固まった。それ以外では、「ビジネス戦略」、「ヘルスケアテクノロジー」、「栄養・食品」への回答が目立っている。

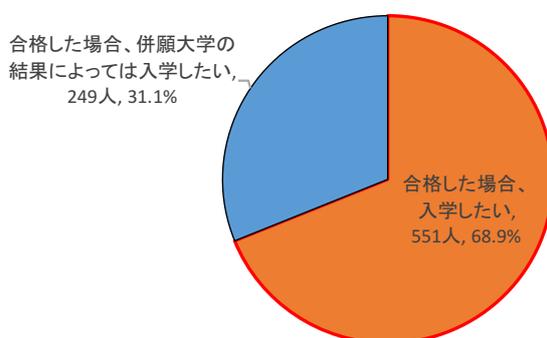
グラフ 受験意欲を示した回答者が関心のある分野（「Q9」結果より）



● 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に、511人が「入学したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院を受験したいと回答した800人のうち、68.9%にあたる551人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示す回答が得られた。また、入学意欲を示した551人を年齢別で見ると、様々な年齢層が入学意欲を示している。特に、回答者全体の年齢の割合と比べ、入学意欲を示した22歳から45歳までの割合が高くなっている。

グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「Q10」結果より）



グラフ 年齢別・神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への入学意欲（「SC3」と「Q10」結果より）

年齢	回答者全体		合格した場合、入学したい		併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
22～25歳	443	5.5%	32	5.8%	23	9.2%
26～30歳	982	12.3%	72	13.1%	47	18.9%
31～35歳	1,159	14.5%	94	17.1%	45	18.1%
36～40歳	1,335	16.7%	97	17.6%	38	15.3%
41～45歳	992	12.4%	81	14.7%	36	14.5%
46～50歳	1,207	15.1%	70	12.7%	27	10.8%
51～55歳	1,058	13.2%	65	11.8%	24	9.6%
56～59歳	831	10.4%	40	7.3%	9	3.6%
合計	8,007	100.0%	551	100.0%	249	100.0%

以上の結果より、神奈川県立保健福祉大学が平成31年（2019年）4月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の学生確保の見通しは、調査対象とした社会人より一定の入学意欲を示す回答を得たため、十分に可能であると判断できる。

添付資料

WEB アンケートの質問画面

対象外条件 SC2_1 < 22 または SC2_1 > 59 (即時回答終了)

対象外条件 (SC4 = 「1. 中学卒」 ~ 「5. 高専卒」) または SC4 = 「8. 上記以外」 (即時回答終了)

対象外条件 SC5 ≠ 「13. 東京都」, 「14. 神奈川県」 (即時回答終了)

対象外条件 SC6 = 「2. 興味はない」 (即時回答終了)

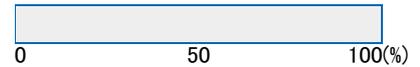
対象外条件 SC7 = 「2. 興味はない」 (即時回答終了)

対象外条件 SC8 = 「2. 受験しない」 (即時回答終了)

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC1

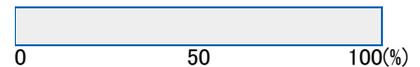
必須設定 回答必須

SC1

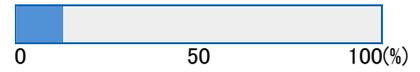
あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC2

対象外条件 SC2_1 < 22 または SC2_1 > 59 (即時回答終了)

- カテゴリ 1.歳

必須設定 回答必須

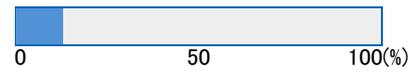
回答制御 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

SC2

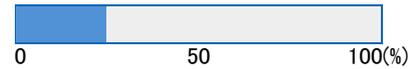
あなたの年齢をお答えください。

 歳

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC3

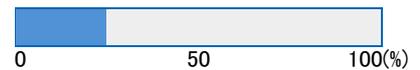
必須設定 回答必須

SC3

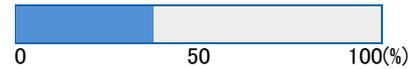
あなたの職業をお答えください。

- 1 会社勤務(一般社員)
- 2 会社勤務(管理職)
- 3 会社経営者・役員
- 4 公務員・教職員・非営利団体職員
- 5 医師・獣医師
- 6 薬剤師
- 7 看護師・保健師・助産師
- 8 その他の医療職
- 9 医療機関の事務職
- 10 派遣社員・契約社員
- 11 自営業(商工サービス)
- 12 SOHO
- 13 農林漁業
- 14 専門職(弁護士・税理士等)
- 15 パート・アルバイト
- 16 専業主婦
- 17 大学生・大学院生
- 18 無職
- 19 その他の職業

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC4

必須設定 回答必須

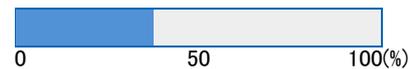
対象外条件 (SC4 = 「1. 中学卒」～「5. 高専卒」) または SC4 = 「8. 上記以外」(即時回答終了)

SC4

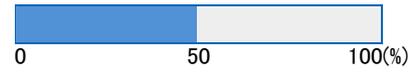
あなたの最終学歴をお答えください。

- 1 中学卒
- 2 高校卒
- 3 専門学校卒
- 4 短大卒
- 5 高専卒
- 6 大学卒
- 7 大学院卒
- 8 上記以外

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC5

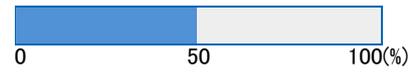
必須設定 回答必須

対象外条件 SC5 ≠ 「13. 東京都」, 「14. 神奈川県」 (即時回答終了)

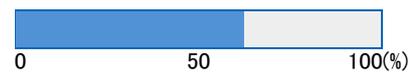
SC5

あなたのお住まいをお答えください。

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC6

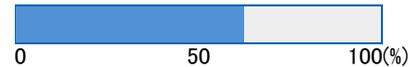
必須設定 回答必須

対象外条件 SC6 = 「2. 興味はない」 (即時回答終了)

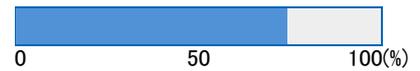
SC6
あなたは“健康の増進”や“疾病の予防”等に関する学問に興味はありますか。

- 1 興味はある
- 2 興味はない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC7

必須設定 回答必須

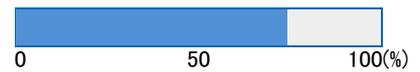
対象外条件 SC7 = 「2. 興味はない」(即時回答終了)

SC7

あなたは大学院への進学等に興味はありますか。

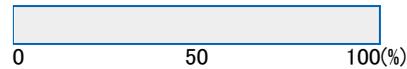
- 1 興味はある
- 2 興味はない

次へ



アンケート画面開始

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を生かし、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (2017-10年度開校)

■開校時期: 2017年10月1日開校
■開校場所: 神奈川県川崎市(保健福祉大学開校キャンパス)
■経費負担: 2年
■入学定員: 15名

■教育課程: 修士(公衆衛生学) ※英訳 Master of Public Health
■養成する人材像: 国際的視野の中、その豊富な専門的知識・関心ができる人材
◎産業的・政策的・実務的に活躍できる人材
◎国際標準に準拠し、国際的・学際的な保健医療サービスの提供ができる人材
◎以上のより広範な人材の育成を目的、専攻員を育成する。

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科では、産業革新領域から、医学的課題も含めたアプローチによって社会実装を目指すことに加え、人材育成を目的、公衆衛生学の専門性に基づいて、専攻の中心として、医学科系、実習・特別研究科系を併修する体制を整えています。

【教育科目】 保健医療分野におけるヘルスイノベーションの基礎となる、基礎的医学と、ヒューマンサービス・ユーザーデザインおよび応用について学ぶ。

【公衆衛生学専門科目】 公衆衛生学およびその関連領域(疫学、生体統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)に関する知識を学ぶ。

【応用科目】 保健医療現場におけるヘルスイノベーションの推進に必要となる、食品・栄養、エビデンス戦略、知的財産権に関する最先端の教育(講義、ヘルスイノベーション推進的実践)の修得を学ぶ。

【実習・特別研究科】 シミュレーション、プレゼンテーション、グループワークなど、ラーニングスタイルの異なる修得方法を導入し、学生の興味関心に応じたフィールド実習や特別研究科の修得を促進し、実装を促す。

【研究科の特色】

- ◎ 高いレベルの履修と修業実績...一科目一コマでの履修が可能で、最終的な修得は「知能開発」を目的とする。
- ◎ 産業界との連携による、実践的な教育環境。
- ◎ 産業界との連携による、実践的な教育環境。
- ◎ 少人数制によるサポート体制で、大学院生一人ひとりが専攻できる。
- ◎ 神奈川県内の企業・研究機関・フィールド実習や特別研究科などで連携。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

入学金・授業料・学費等

項目	1年次	2年次	4年次	合計(4年次)
入学金	200,000	200,000	200,000	600,000
授業料	200,000	200,000	200,000	600,000
施設費	200,000	200,000	200,000	600,000
生活費	200,000	200,000	200,000	600,000
合計	800,000	800,000	800,000	2,400,000

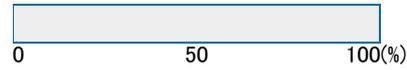
※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

Q1 **必須設定** 回答必須

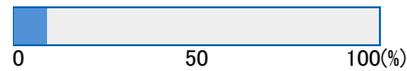
Q1 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」を受験をしたい理由をお答えください。(いくつでも)

- 1 教育内容に興味・関心があるから
- 2 養成する人材像に共感できるから
- 3 希望するキャリアに近づけるから
- 4 少人数制の教育でじっくり学べるから
- 5 神奈川県や近隣企業と連携しているから
- 6 国際的に通用する学位(MPH)が授与されるから
- 7 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術と学び、健康課題を解決する。

ヘルスインノベーション研究科ヘルスインノベーション専攻 (仮称) 概要資料

■開設時期:2017年度(17年) ■開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学新キャンパス)

■設置学域:公衆衛生学 ■入学定員:15名

■教授陣:学長(公衆衛生学) 学長補佐(公衆衛生学) 学長補佐(公衆衛生学)

■養成する人材:①公衆衛生学、その基礎となる学問の探究・開発ができる人材
②専門的な技術・知識を応用して、社会的課題を解決できる人材
③地域特性に着眼し、国際的・学際的な保健医療サービスの開発ができる人材
④以上の3領域(人材)を兼ね、社会貢献を志向する人材

【研究科で目指される教育の特色】

ヘルスインノベーション研究科は、健康増進・予防、科学的知見に基づいたサービス提供の実践を通して、社会で必要とされる人材を養成することを目的とし、公衆衛生学の専門性に基づき、応用科学、実証・実践的研究を重視した教育を行います。

教育目標 健康増進を推進するヘルスインノベーションの創出を、公衆衛生学、ヒューマンサービス、データサイエンスの領域で行います。

公衆衛生学専門科目 公衆衛生学の基礎となる学問(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する知識を学ぶ。

応用科目 健康増進領域におけるデータサイエンス・ヒューマンサービス・食品・栄養、IT技術の応用に関する最先端の授業を実施し、ヘルスインノベーション創出のための必要知識を学ぶ。

実証・実践的科目 学内・学外連携、フィールドワークなど、実践的な学習機会を創出し、学生の専門性向上に向けたフィールド実証や実践的学習を推進する。

【研究科の特色】

- 高い知識や専門的スキルを、一部オンラインでの学習も可能な環境を整備し、最新の最先端の健康課題を解決。
- 産業界や自治体、ベンチャーや起業家と連携する産学連携を推進。
- 産学連携を推進し、実証・実践的学習。
- データサイエンスの活用を通して、実証・実践的学習を推進する。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関と連携し、フィールド実証や実践的学習を推進する。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

公衆衛生学専攻の教育内容

学域	学年	科目	単位数	履修科目
公衆衛生学	1年次	公衆衛生学Ⅰ	5	公衆衛生学Ⅰ
	2年次	公衆衛生学Ⅱ	5	公衆衛生学Ⅱ
応用科学	1年次	データサイエンスⅠ	5	データサイエンスⅠ
	2年次	データサイエンスⅡ	5	データサイエンスⅡ
ヒューマンサービス	1年次	ヒューマンサービスⅠ	5	ヒューマンサービスⅠ
	2年次	ヒューマンサービスⅡ	5	ヒューマンサービスⅡ
食品・栄養	1年次	食品・栄養Ⅰ	5	食品・栄養Ⅰ
	2年次	食品・栄養Ⅱ	5	食品・栄養Ⅱ
環境保健学	1年次	環境保健学Ⅰ	5	環境保健学Ⅰ
	2年次	環境保健学Ⅱ	5	環境保健学Ⅱ

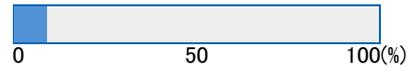
※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

Q2 必須設定 回答必須

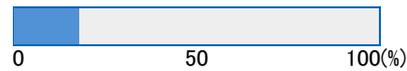
Q2 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスインノベーション研究科ヘルスインノベーション専攻修士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。

- 1 公衆衛生の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野
- 2 保健医療政策や法律、医療機関のマネジメント
- 3 創薬や新規治療技術の創造に関する専門知識や統計手法
- 4 保健医療分野におけるビジネス戦略や、アントレプレナーシップ

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を持ち、健康課題を解決する。
ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻

■開設時期:2015年度31期 ■開設場所:神奈川県横浜市保健福祉大学(新キャンパス)
■設置学部長:佐藤 隆夫(学長兼学長) ■入学定員:15人
■教授陣:佐藤 隆夫(学長兼学長) ※英語 Master of Public Health
■養成する人材:①公衆衛生学、その基礎となる疫学・統計学が得意な人材
②専門的な技術(英語)に強みを持った人材
③地域密着性に重きを置き、地場の保健医療サービスの提供ができる人材
④以上の3つを兼ね備えた人材を養成、社会に貢献できる人材

【研究科で実施される教育の特色】
ヘルスイノベーション研究科では、最先端の先端技術、科学的知識に優れた学生が揃った環境で実践的学習を行うことのできる人材を養成する。公衆衛生学の専門科目に於いて、基礎的・応用的知識を習得し、実践的・応用的知識を習得し、実践的・応用的知識を習得する。

【教育目標】
公衆衛生学を学ぶことでヘルスイノベーションの基礎となる、疫学・統計学、公衆衛生学、保健医療政策、保健医療サービスに関する知識を学ぶ。

【卒業後】
公衆衛生学を学ぶことでヘルスイノベーションの基礎となる、疫学・統計学、公衆衛生学、保健医療政策、保健医療サービスに関する知識を学ぶ。

【研究科の特色】
○ 高い知識と専門的スキルを有し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮されている点
○ 経験豊富な教員による、英語での授業も開講される点
○ 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポートされる点
○ 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携される点

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

公衆衛生学専攻の教育目標

教育目標	到達目標	評価方法	到達率
1. 公衆衛生学の基礎知識を習得する	疫学・統計学、公衆衛生学に関する基礎知識を習得する	授業内評価(小テスト、レポート、期末試験)	95%
2. 公衆衛生学の応用知識を習得する	疫学・統計学、公衆衛生学に関する応用知識を習得する	卒業論文(研究報告書)	90%
3. 公衆衛生学の専門知識を習得する	疫学・統計学、公衆衛生学に関する専門知識を習得する	卒業論文(研究報告書)	85%
4. 公衆衛生学の実践的知識を習得する	疫学・統計学、公衆衛生学に関する実践的知識を習得する	卒業論文(研究報告書)	80%

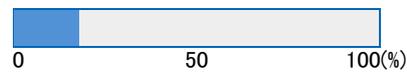
※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

Q3 必須設定 回答必須

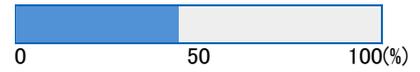
Q3 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」の特長の中で、興味があるものを教えてください。(いくつでも)

- 1 主に平日夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮されている点
- 2 通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入される点
- 3 経験豊富な教員による、英語での授業も開講される点
- 4 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポートされる点
- 5 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携される点

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



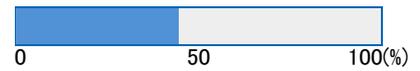
Q6

必須設定 回答必須

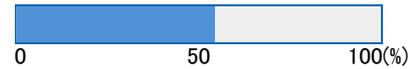
Q6

海外からの留学生が参画する環境について、あなたの考えを教えてください。

- 1 非常によいと思う
- 2 よいと思う
- 3 やや不安に思う
- 4 不安に思う

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



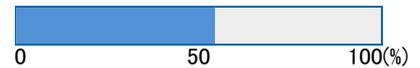
Q7_1

必須設定 回答必須

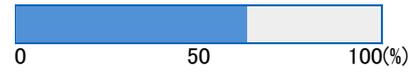
Q7_1

現在のあなたのTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

- 1 10～395
- 2 400～495
- 3 500～595
- 4 600～695
- 5 700～795
- 6 800～895
- 7 900～990
- 8 受験したことがない

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



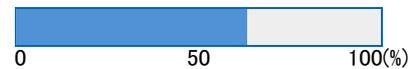
Q7_2

必須設定 回答必須

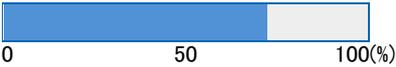
Q7_2

現在のあなたのTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

- 1 0～49
- 2 50～55
- 3 56～60
- 4 61～65
- 5 66～70
- 6 71～75
- 7 76～80
- 8 81～85
- 9 86～90
- 10 91～95
- 11 96～100
- 12 100～120
- 13 受験したことがない

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術と学び、健康課題を解決する。
ヘルスサイバニケーション研究科ヘルスサイバニケーション専攻 (2017年度開始)

■開設時期:2017年度(17年) ■開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学横浜キャンパス)
 ■設置学部長:佐藤 龍太郎(学長) ■入学定員:15名
 ■教授陣:佐藤 龍太郎(学長) ■実習:Master of Public Health
 ■養成する人材:①公衆衛生学、その基礎となる科学的・臨床的知識が豊富な人材
 ②専門的な技術・実践的に応用できる人材
 ③地域性に特化した、国際的な保健医療サービスの提供ができる人材
 ④以上の3つを兼ね備えた人材を養成、社会に貢献できる人材

【研究科で実施される教育の特色】
 ヘルスサイバニケーション研究科は、最先端の先端技術、科学的知識と最新のテクノロジーを応用して社会課題を解決する公衆衛生学専攻を創設し、公衆衛生学の専門性に応じて、応用科学、実習・実践的知識を重視した教育を実施する。

【教育目標】
 公衆衛生学専攻におけるヘルスサイバニケーションの推進、先端技術と、ヘルスサイバニケーションの推進。

【公衆衛生学専攻の特色】
 公衆衛生学専攻として、公衆衛生学、疫学、保健増進学、社会行動学、保健政策学、健康増進学に関する知識を学ぶ。

【応用科目】
 保健政策学に関する公衆衛生学、疫学、保健増進学、社会行動学、保健政策学、健康増進学に関する知識を学ぶ。

【実習・実践科目】
 公衆衛生学専攻における公衆衛生学、疫学、保健増進学、社会行動学、保健政策学、健康増進学に関する知識を学ぶ。

【研究科の特色】
 ○ 最先端の先端技術と科学的知識、一貫した実践的・応用的な教育を実施。
 ○ 最先端の先端技術と科学的知識、一貫した実践的・応用的な教育を実施。
 ○ 最先端の先端技術と科学的知識、一貫した実践的・応用的な教育を実施。
 ○ 最先端の先端技術と科学的知識、一貫した実践的・応用的な教育を実施。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

公衆衛生学専攻の教育内容

学修科目	単位数	履修年次	単位数	履修年次	単位数	履修年次
公衆衛生学	20	1	20	1	20	1
疫学	10	1	10	1	10	1
保健増進学	10	1	10	1	10	1
社会行動学	10	1	10	1	10	1
保健政策学	10	1	10	1	10	1
健康増進学	10	1	10	1	10	1
実習	10	2	10	2	10	2
実践的知識	10	2	10	2	10	2
応用科学	10	2	10	2	10	2
先端技術	10	2	10	2	10	2
ヘルスサイバニケーション	10	2	10	2	10	2
公衆衛生学	20	3	20	3	20	3
疫学	10	3	10	3	10	3
保健増進学	10	3	10	3	10	3
社会行動学	10	3	10	3	10	3
保健政策学	10	3	10	3	10	3
健康増進学	10	3	10	3	10	3
実習	10	3	10	3	10	3
実践的知識	10	3	10	3	10	3
応用科学	10	3	10	3	10	3
先端技術	10	3	10	3	10	3
ヘルスサイバニケーション	10	3	10	3	10	3

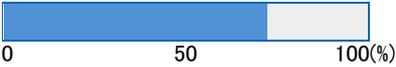
※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

Q8 必須設定 回答必須

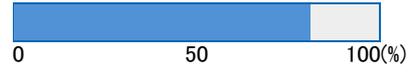
Q8 あなたが大学院の科目の中で短期間のフィールド実習を受講するとした場合、希望する実習先について教えてください。(いくつでも)

- 1 企業(国内)
- 2 企業(海外)
- 3 公的機関(国内)
- 4 公的機関(海外)
- 5 研究機関(国内)
- 6 研究機関(海外)
- 7 医療関連施設(国内)
- 8 医療関連施設(海外)
- 9 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を持ち、健康課題を解決する。
ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (HPI) 概要書

■開設時期: 2017年度(17年) ■開設場所: 神奈川県横浜市(保健福祉大学横浜キャンパス)
 ■専攻設置の経緯: 公衆衛生学専攻(15年) ■入学定員: 15名
 ■専攻の理念(主として公衆衛生): ①実践: Master of Public Health
 ■養成する人材(主として公衆衛生): ①基礎的な公衆衛生の専門家(公衆衛生学) ②地域保健に貢献する人材
 ③地域保健に貢献する人材(地域保健) ④地域保健に貢献する人材(地域保健) ⑤地域保健に貢献する人材(地域保健)

【研究科で実施される教育の内容】
 ヘルスイノベーション研究科は、最先端の公衆衛生学、地域保健学、健康増進学、健康政策学、健康経営学、健康情報学、健康社会学に関する知識を学ぶ。

教育科目
 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学)

応用科目
 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学) 公衆衛生学(公衆衛生学)

研究科の特色
 ① 最先端の公衆衛生学に関する、一部オンラインでの学習も可能な、最新の公衆衛生学に関する最先端の教育。
 ② 最先端の公衆衛生学に関する、最先端の公衆衛生学に関する最先端の教育。
 ③ 最先端の公衆衛生学に関する、最先端の公衆衛生学に関する最先端の教育。
 ④ 最先端の公衆衛生学に関する、最先端の公衆衛生学に関する最先端の教育。
 ⑤ 最先端の公衆衛生学に関する、最先端の公衆衛生学に関する最先端の教育。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

公衆衛生学専攻の教育内容に関するアンケートの結果を示すグラフと表。

専攻	回答数	割合	割合	割合
疫学	200	100%	100%	100%
生物統計学	150	75%	75%	75%
社会行動科学	100	50%	50%	50%
環境保健学	80	40%	40%	40%
保健医療管理学	60	30%	30%	30%
ビジネス戦略	40	20%	20%	20%
ヘルスケアテクノロジー	30	15%	15%	15%
データサイエンス	20	10%	10%	10%
防災	15	7.5%	7.5%	7.5%
都市計画	10	5%	5%	5%
母子保健	8	4%	4%	4%
レギュラトリーサイエンス	6	3%	3%	3%
国際保健	5	2.5%	2.5%	2.5%
医療政策	4	2%	2%	2%
栄養・食品	3	1.5%	1.5%	1.5%
プレゼンテーション	2	1%	1%	1%
リーダーシップ論	1	0.5%	0.5%	0.5%

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

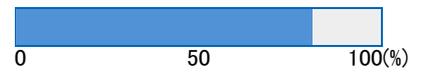
Q9 **必須設定** **回答必須**

Q9
 あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(いくつでも)

- 1 疫学
- 2 生物統計学
- 3 社会行動科学
- 4 環境保健学
- 5 保健医療管理学
- 6 ビジネス戦略
- 7 ヘルスケアテクノロジー
- 8 データサイエンス
- 9 防災
- 10 都市計画
- 11 母子保健
- 12 レギュラトリーサイエンス
- 13 国際保健
- 14 医療政策
- 15 栄養・食品
- 16 プレゼンテーション
- 17 リーダーシップ論

18 バイオデザイン

19 その他



第 1 章

高齢化の状況

第 1 節 高齢化の状況

1 高齢化の現状と将来像

(1) 高齢化率は 27.3%

我が国の総人口は、平成 28（2016）年 10 月 1 日現在、1 億 2,693 万人となっている。

65 歳以上の高齢者人口は、3,459 万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も 27.3% となった。

65 歳以上の高齢者人口を男女別にみると、男性は 1,500 万人、女性は 1,959 万人で、性比（女性人口 100 人に対する男性人口）は 76.6 であり、男性対女性の比は約 3 対 4 となっている。

また、高齢者人口のうち、「65～74 歳人口」は 1,768 万人（男性 842 万人、女性 926 万人、性

比 91.0）で総人口に占める割合は 13.9%、「75 歳以上人口」は 1,691 万人（男性 658 万人、女性 1,033 万人、性比 63.6）で、総人口に占める割合は 13.3% である（表 1-1-1）。

平成 27（2015）年は、65～74 歳人口の対前年増加数が減少に転じた。昭和 22（1947）～24（1949）年に生まれたいわゆる「団塊の世代」が 65 歳に達したことによる増加数に及ばないためである（図 1-1-2）。

我が国の 65 歳以上の高齢者人口は、昭和 25（1950）年には総人口の 5% に満たなかったが、45（1970）年に 7% を超え、さらに、平成 6（1994）年には 14% を超えた。高齢化率はその後も上昇を続け、現在、27.3% に達している。

表 1-1-1 高齢化の現状

単位：万人（人口）、%（構成比）

		総数	男	女
人口 (万人)	総人口	12,693	6,177	6,517
	高齢者人口（65 歳以上）	3,459	1,500	1,959
	65～74 歳人口	1,768	842	926
	75 歳以上人口	1,691	658	1,033
	生産年齢人口（15～64 歳）	7,656	3,869	3,788
	年少人口（0～14 歳）	1,578	808	770
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0
	高齢者人口（高齢化率）	27.3	24.3	30.1
	65～74 歳人口	13.9	13.6	14.2
	75 歳以上人口	13.3	10.6	15.9
	生産年齢人口	60.3	62.6	58.1
	年少人口	12.4	13.1	11.8

資料：総務省「人口推計」平成 28 年 10 月 1 日（確定値）

(注)「性比」は、女性人口 100 人に対する男性人口

また、生産年齢人口（15～64歳）は、平成7（1995）年に8,716万人でピークを迎え、その後減少に転じ、25（2013）年には7,901万人と昭和56（1981）年以來32年ぶりに8,000万人を下回った。

（2）将来推計人口でみる50年後の日本

将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡及び国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいて我が国の将来の人口規模並びに年齢構成等の人口構造の推移について推計したものである。以下、平成29（2017）年4月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の将来推計人口」における出生中位・死亡中位推計結果（以下、本節においてはすべてこの仮定に基づく推計結果）を概観する。

ア 9,000万人を割り込む総人口

我が国の総人口は、長期の人口減少過程に入っており、平成41（2029）年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、65（2053）年には1億人を割って9,924万人となり、77（2065）

年には8,808万人になると推計されている（図1-1-3）。

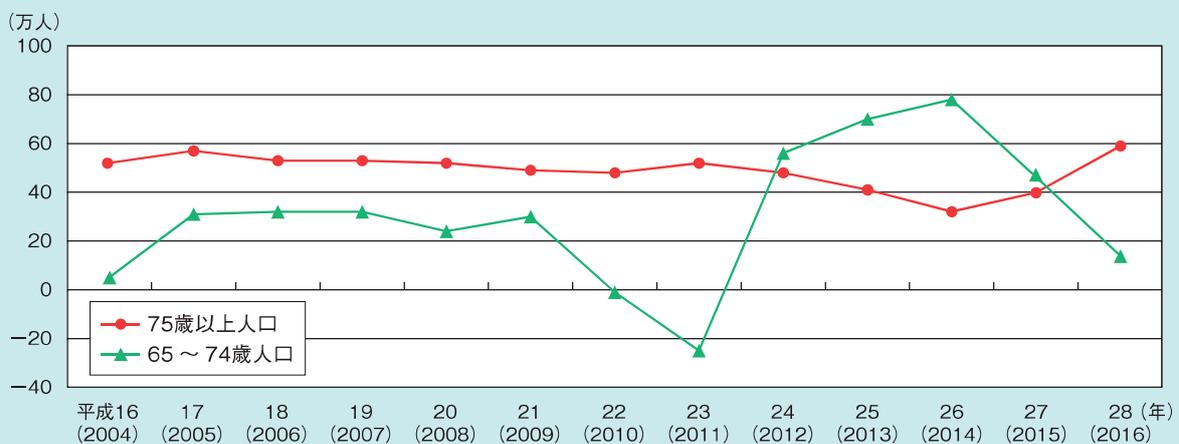
イ 約2.6人に1人が65歳以上、約4人に1人が75歳以上

高齢者人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった平成27（2015）年に3,387万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる37（2025）年には3,677万人に達すると見込まれている。

その後も高齢者人口は増加傾向が続き、平成54（2042）年に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されている。

総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、平成48（2036）年に33.3%で3人に1人となる。54（2042）年以降は高齢者人口が減少に転じても高齢化率は上昇傾向にあり、77（2065）年には38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計されている。総人口に占める75歳以上人口の割合は、77（2065）年には25.5%となり、約4人に1人が75歳以上の高齢者となると推計されている。

図1-1-2 高齢者人口の対前年増加数の推移



資料：総務省「国勢調査」「人口推計」（各年10月1日現在）より内閣府作成。
2016年は「人口推計（平成28年10月1日確定値）」より作成。

高齢者人口のうち、65～74歳人口は「団塊の世代」が高齢期に入った後に平成28（2016）年の1,768万人でピークを迎える。その後、40（2028）年まで減少傾向となるが再び増加に転じ、53（2041）年の1,715万人に至った後、減少に転じると推計されている。

一方、75歳以上人口は増加を続け、平成30（2018）年には65～74歳人口を上回り、その後も平成66（2054）年まで増加傾向が続くものと見込まれている（図1-1-4）。

なお、5年前（平成24年）の推計と比較すると、人口減少の速度（2060年推計人口について、今回推計では9,284万人、前回推計では8,674万人）や高齢化の進行度合い（2060年高齢化率の推計について、今回推計では38.1%、前回推計では39.9%）は緩和している。

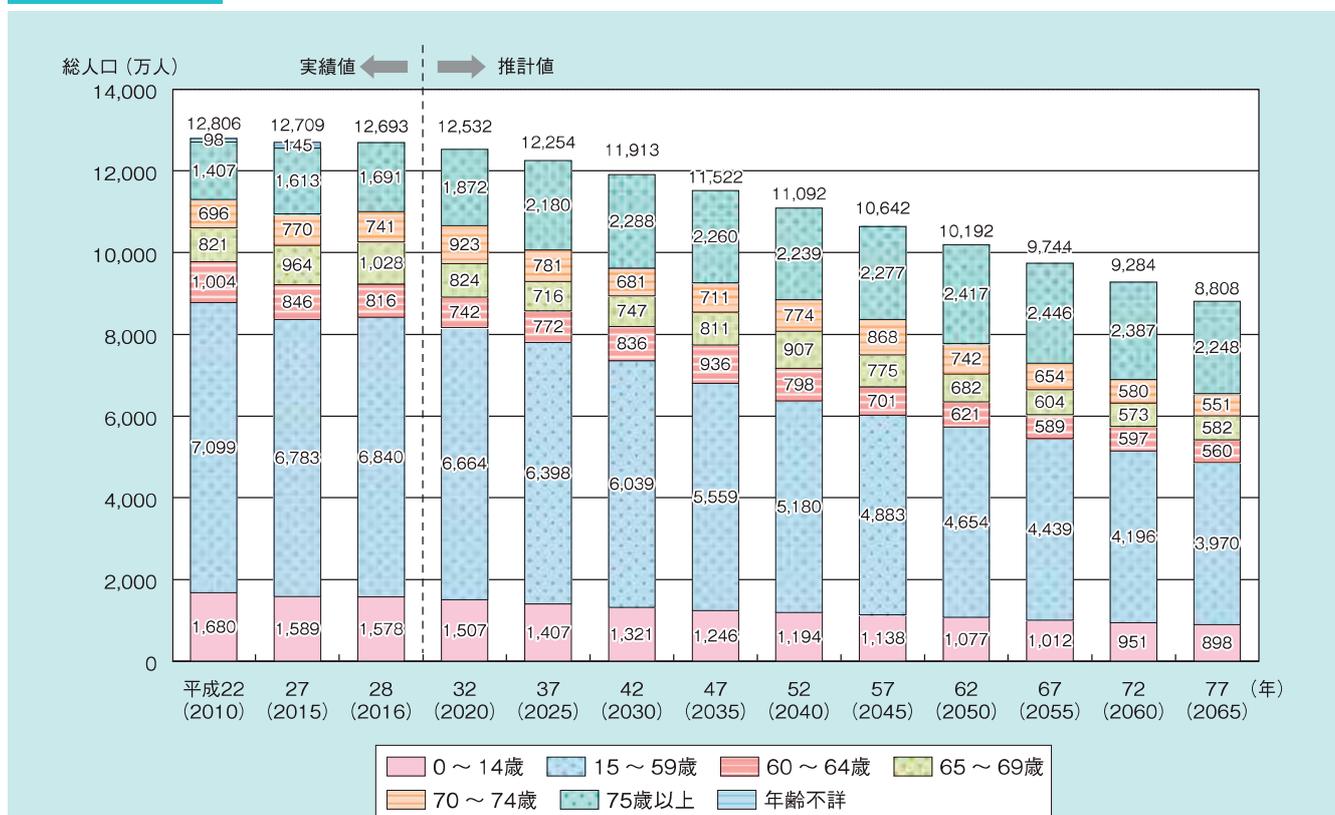
ウ 年少人口、出生数とも現在の半分程度に、生産年齢人口は4,529万人に

出生数は減少を続け、平成77（2065）年には、56万人になると推計されている。この減少により、年少人口（0～14歳）は68（2056）年に1,000万人を割り、77（2065）年には898万人と、現在の半分程度になると推計されている。

出生数の減少は、生産年齢人口にまで影響を及ぼし、平成41（2029）年に6,951万人と7,000万人を割り、77（2065）年には4,529万人となると推計されている。

一方、高齢者人口の増大により死亡数は増加、死亡率（人口1,000人当たりの死亡数）は上昇を続け、平成77（2065）年には、17.7になると推計されている（図1-1-5）。

図1-1-3 年齢区分別将来人口推計



資料：2010年と2015年は総務省「国勢調査」、2016年は総務省「人口推計」（平成28年10月1日確定値）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

（注）2010年、2015年の総数は年齢不詳を含む。

図1-1-4 高齢化の推移と将来推計

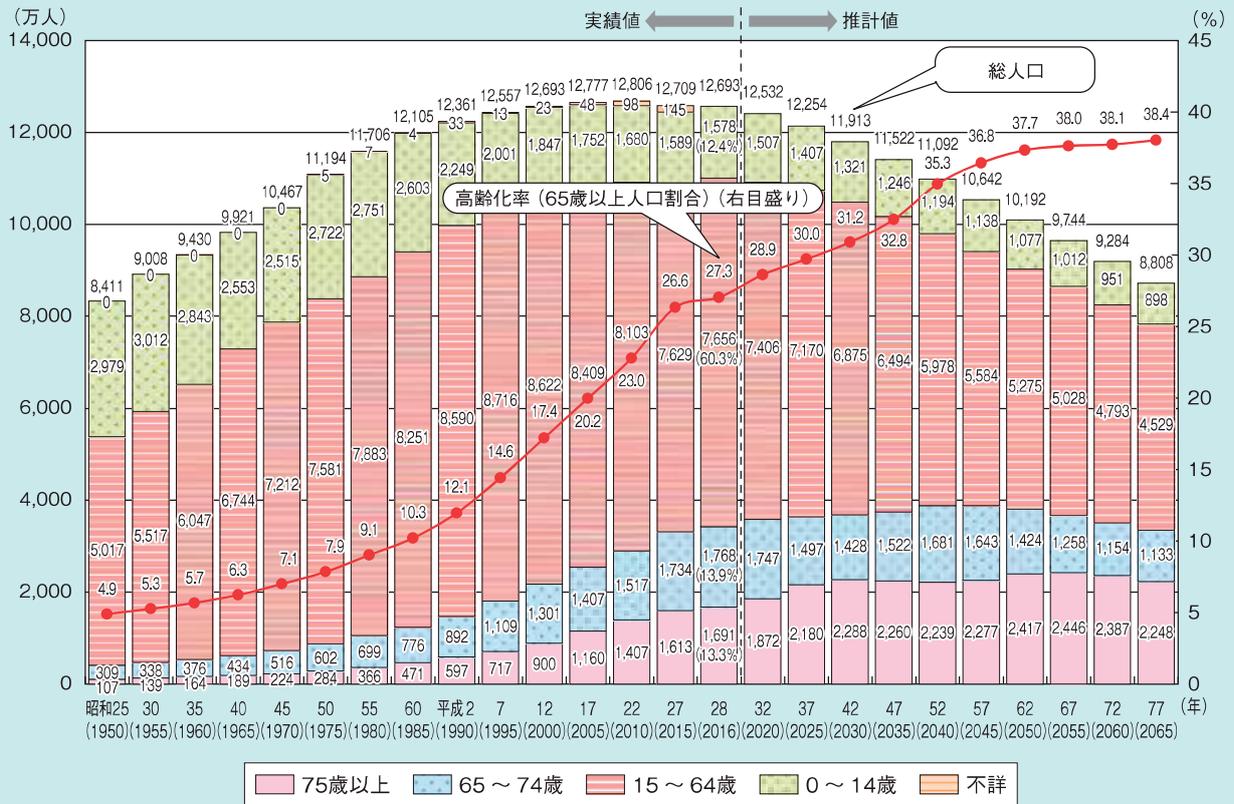
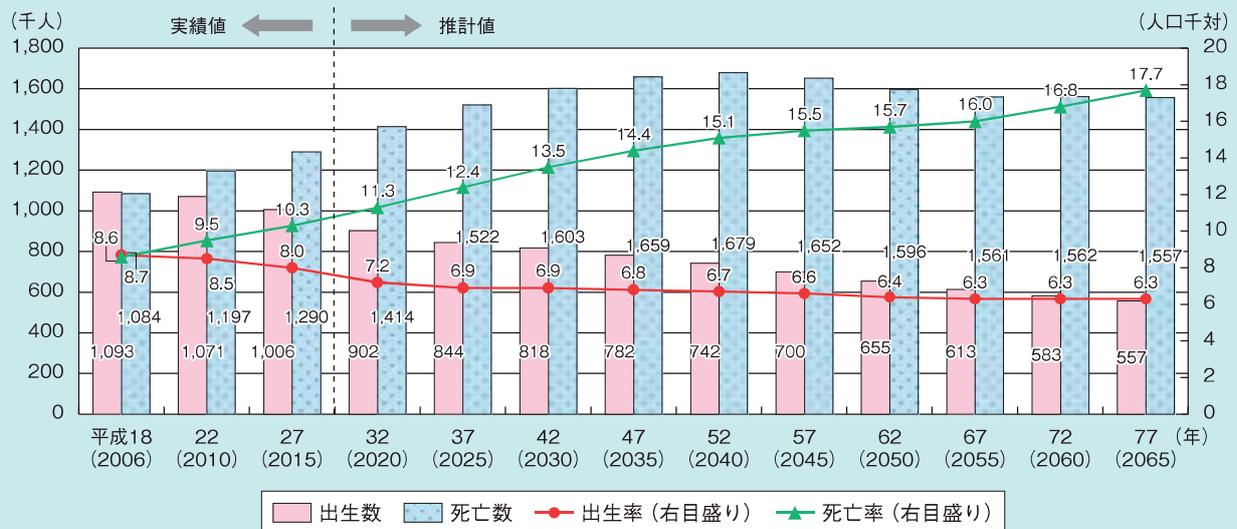


図1-1-5 出生数及び死亡数の将来推計



エ 現役世代1.3人で1人の高齢者を支える社会の到来

65歳以上の高齢者人口と15～64歳人口の比率をみると、昭和25（1950）年には1人の高齢者に対して12.1人の現役世代（15～64歳の者）がいたのに対して、平成27（2015）年には高齢者1人に対して現役世代2.3人になっている。今後、高齢化率は上昇し、現役世代の割合は低下し、77（2065）年には、1人の高齢者に対して1.3人の現役世代という比率になる（図1-1-6）。

オ 将来の平均寿命は男性84.95年、女性91.35年

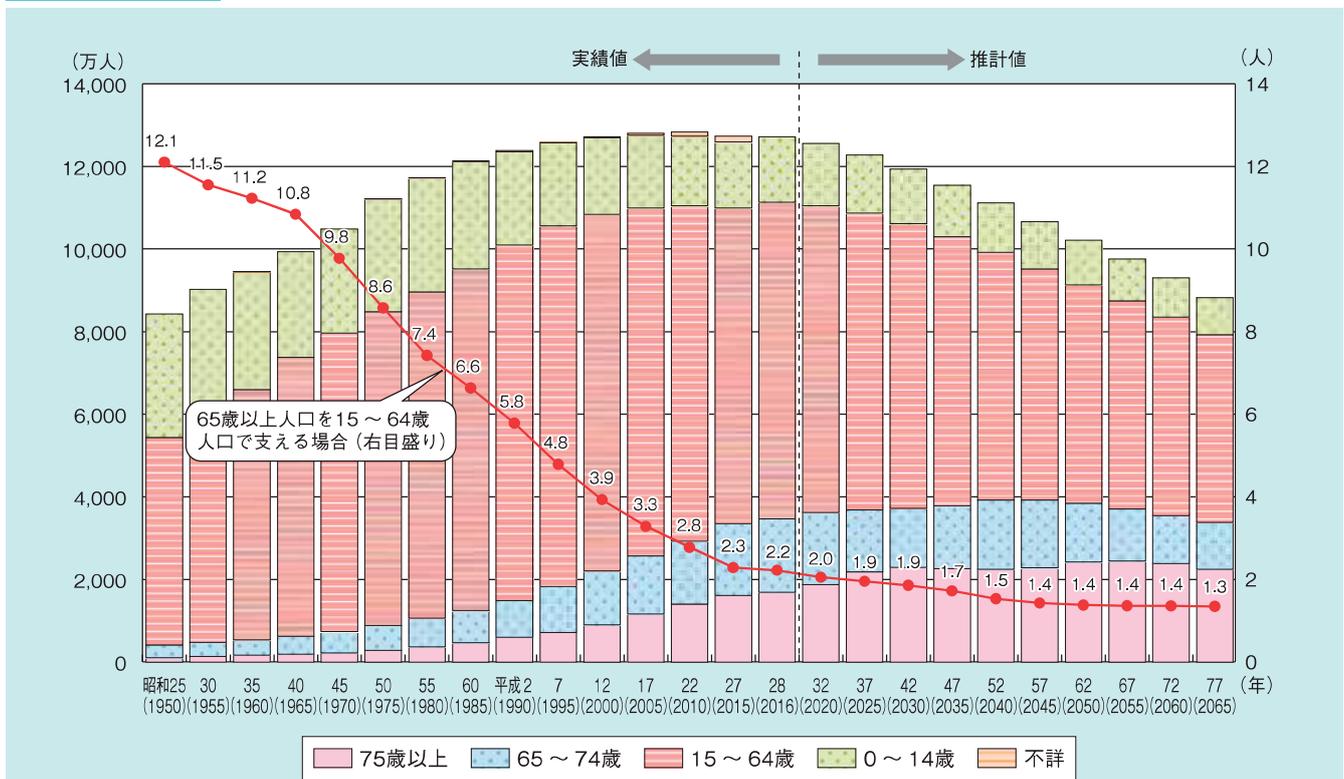
我が国の平均寿命は、平成27（2015）年現在、男性80.75年、女性86.99年と、前年に比べて男性は0.25年、女性は0.16年上回った。今後、

男女とも平均寿命は延びて、77（2065）年には、男性84.95年、女性91.35年となり、女性は90年を超えると見込まれている（図1-1-7）。

2 地域別にみた高齢化

平成27（2015）年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で33.8%、最も低い沖縄県で19.6%となっている。今後、高齢化率は、すべての都道府県で上昇し、52（2040）年には、最も高い秋田県では43.8%となり、最も低い沖縄県でも、30%を超えて30.3%に達すると見込まれている。また、首都圏など三大都市圏をみると、千葉県の高齢化率は、27（2015）年の25.9%から10.6ポイント上昇し、52（2040）年には36.5%に、神奈川県では23.9%から11.1ポイント上昇し35.0%になると見込まれており、今後、我が国

図1-1-6 高齢世代人口の比率



資料：2015年までは総務省「国勢調査」、2016年は総務省「人口推計」（平成28年10月1日確定値）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 2016年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。

の高齢化は、大都市圏を含めて全国的な広がりを見ることがとなる（表1-1-8）。

3 高齢化の要因

高齢化の要因は大きく分けて、①年齢階級別の死亡率の低下による65歳以上人口の増加、②少子化の進行による若年人口の減少、の2つである。

(1) 年齢階級別の死亡率の低下による65歳以上人口の増加

高齢者の増加に伴い、死亡者数の実数は増加傾向にあるが、高齢者の死亡率を男女別年齢別に年次で比べると、ほとんどの年齢層において低下している（図1-1-9）。

なお、人口の年齢構成に変化がないと仮定した場合の年齢調整死亡率は低下傾向にある。戦後、我が国では、生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩等により、年齢

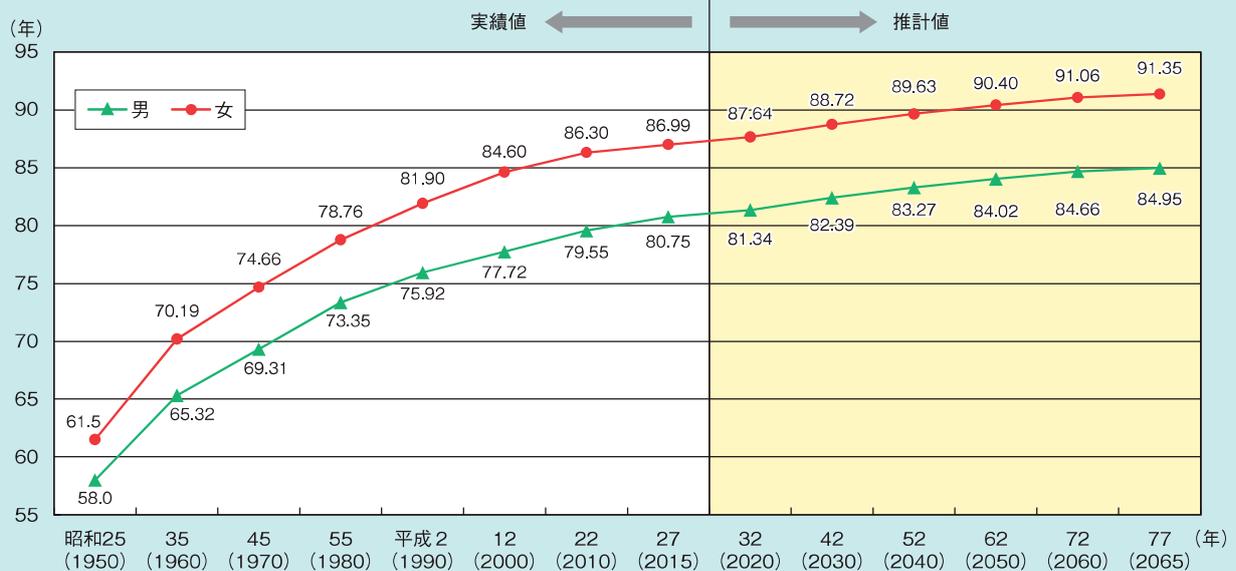
調整死亡率が大幅に低下し、昭和22（1947）年の男性23.6、女性18.3から、平成27（2015）年には男性4.9、女性2.5になった（図1-1-10）。

(2) 少子化の進行による若年人口の減少

我が国の戦後の出生状況の推移をみると、出生数は、第1次ベビーブーム（昭和22（1947）～24（1949）年。この間の出生数805万7,054人）、第2次ベビーブーム（46（1971）～49（1974）年。この間の出生数816万1,627人）の2つのピークの後には減少傾向にある。平成27（2015）年の出生数は100万5,677人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）は8.0となり、出生数は前年を上回った。

また、合計特殊出生率（その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供の数に相当する。）は、第1次ベビーブーム以降急速

図1-1-7 平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

に低下し、昭和31（1956）年に2.22となった後、しばらくは人口置換水準（人口を長期的に維持するために必要な水準）前後で推移してきたが、50（1975）年に1.91と2.00を下回ると、平成5（1993）年に1.46と1.50を割り込んだ。その後も低下傾向は続き、17（2005）年には1.26と過去最低を記録したが、27（2015）年は1.45となっている。

4 高齢化の社会保障給付費に対する影響

(1) 過去最高となった社会保障給付費

国立社会保障・人口問題研究所「平成26年度社会保障費用統計」により、社会保障給付費（年金・医療・福祉その他を合わせた額）全体についてみると、平成26（2014）年度は112兆1,020億円となり過去最高の水準となっ

表1-1-8 都道府県別高齢化率の推移

	平成27年 (2015)			平成52年 (2040)	高齢化率の伸び (ポイント)
	総人口(千人)	65歳以上 人口(千人)	高齢化率(%)	高齢化率(%)	
北海道	5,382	1,558	29.1	40.7	11.6
青森県	1,308	391	30.1	41.5	11.4
岩手県	1,280	387	30.4	39.7	9.3
宮城県	2,334	588	25.7	36.2	10.5
秋田県	1,023	343	33.8	43.8	10.0
山形県	1,124	344	30.8	39.3	8.5
福島県	1,914	542	28.7	39.3	10.6
茨城県	2,917	772	26.8	36.4	9.6
栃木県	1,974	508	25.9	36.3	10.4
群馬県	1,973	540	27.6	36.6	9.0
埼玉県	7,267	1,789	24.8	34.9	10.1
千葉県	6,223	1,584	25.9	36.5	10.6
東京都	13,515	3,006	22.7	33.5	10.8
神奈川県	9,126	2,158	23.9	35.0	11.1
新潟県	2,304	685	29.9	38.7	8.8
富山県	1,066	323	30.5	38.4	7.9
石川県	1,154	317	27.9	36.0	8.1
福井県	787	222	28.6	37.5	8.9
山梨県	835	235	28.4	38.8	10.4
長野県	2,099	626	30.1	38.4	8.3
岐阜県	2,032	568	28.1	36.2	8.1
静岡県	3,700	1,021	27.8	37.0	9.2
愛知県	7,483	1,761	23.8	32.4	8.6
三重県	1,816	501	27.9	36.0	8.1
滋賀県	1,413	338	24.2	32.8	8.6
京都府	2,610	703	27.5	36.4	8.9
大阪府	8,839	2,278	26.1	36.0	9.9
兵庫県	5,535	1,482	27.1	36.4	9.3
奈良県	1,364	389	28.7	38.1	9.4
和歌山県	964	296	30.9	39.9	9.0
鳥取県	573	169	29.7	38.2	8.5
島根県	694	223	32.5	39.1	6.6
岡山県	1,922	541	28.7	34.8	6.1
広島県	2,844	774	27.5	36.1	8.6
山口県	1,405	448	32.1	38.3	6.2
徳島県	756	231	31.0	40.2	9.2
香川県	976	286	29.9	37.9	8.0
愛媛県	1,385	417	30.6	38.7	8.1
高知県	728	237	32.8	40.9	8.1
福岡県	5,102	1,305	25.9	35.3	9.4
佐賀県	833	229	27.7	35.5	7.8
長崎県	1,377	405	29.6	39.3	9.7
熊本県	1,786	511	28.8	36.4	7.6
大分県	1,166	352	30.4	36.7	6.3
宮崎県	1,104	323	29.5	37.0	7.5
鹿児島県	1,648	480	29.4	37.5	8.1
沖縄県	1,434	278	19.6	30.3	10.7

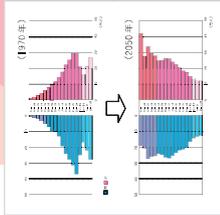
資料：平成27年は総務省「国勢調査」、平成52年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

何が問題なのですか？

圧倒的なスピードで「超高齢社会」が進展

神奈川県人口構造が逆転します

1970年にはきれいなピラミッド型をしていた人口構造が、2050年には完全に逆転してしまいます。神奈川県4全国と比較しても速いスピードで高齢化が進むと見込まれています。



継続が困難になる社会システム

社会保障制度など現在の社会システムは、多数の現役世代が少数の高齢者を支えることを想定しています。少子高齢化の進展により、現在の社会システムでは対応することが難しくなります。

1965年 肩上げ型

9.1人



65歳以上1人に対して
20〜64歳は9.1人

※ 国勢調査（平成26年）推計

2012年 駒高戦型

2.4人



65歳以上1人に対して
20〜64歳は2.4人

※ 国勢調査（平成24年）推計

2050年 肩重型

1.2人



65歳以上1人に対して
20〜64歳は1.2人（推計）

どのように取り組むのですか？

ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出

未病産業の創出



県独自の産業として、ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

ME-BYO ハウス・ラボ



ME-BYO ハウス・ラボは、モデルハウスの中に健康診断施設を設置し、健康診断を受けながら、生活習慣病の予防や健康管理を行うことができる。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

CHO補給の普及拡大



CHO補給は、企業や団体に導入される。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。



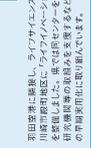
3つの特区の活用

未病の改善

県では、現在の自身の状態だけでなく将来の状態を、より健康な状態に近づけていく「未病の改善」に向けて、企業や大学・研究機関、市町村等と連携して様々な取組みを進めています。

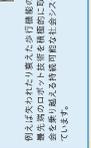
「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という二つのアプローチを融合し、健康増進社会に対応した新しい社会システムを創り出すための政策が「ヘルスケア・ニューフロンティア」です

再生・細胞医療の実用化と産業化の促進



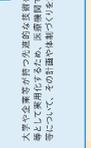
再生・細胞医療の実用化と産業化の促進。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

ヘルスケア・ロボット産業の創出

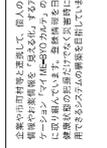


ヘルスケア・ロボット産業の創出。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

臨床研究体制の強化



臨床研究体制の強化。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

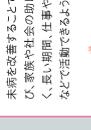


国際的な医療人材の育成

何が可能になるのですか？

将来への不安を感じることなく、すべての人が健康で生き生きと心豊かに暮らすことができる「安心・健康・生きがい」社会を実現します

健康寿命の延伸



健康寿命の延伸。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

最速な医療の提供



最速な医療の提供。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。

生活の質の向上



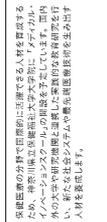
生活の質の向上。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。



地域経済の活性化

最先端医療の追求

最先端医療の追求。ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出。



ヘルスケア・ニューフロンティア

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」

設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書

平成 30 年 2 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

第1章	設置構想に係る人材需要アンケート調査 <アンケート用紙を活用した調査>	
1-1	調査の概要	
1-2	全質問項目の集計結果	1
1-3	入学意欲の分析	2
		6
第2章	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻についてのアンケート調査 <メール・WEBを活用した調査>	
2-1	調査の概要	11
2-2	全質問項目の集計結果	12
2-3	入学意欲の分析	17
まとめ		
	全調査結果からみた「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の人材需要の見通し	22
添付資料（実施したアンケート用紙）		
	【調査1】設置構想に係る人材需要アンケート調査用紙	
	【調査2】ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻についてのアンケート調査（WEB画面）	

第 1 章

設置構想に係る人材需要アンケート調査

<アンケート用紙を活用した調査>

1-1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学が平成31年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の修了生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：平成29年12月～平成30年1月

◆調査対象：平成31年4月設置をめざす大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）の修了生の採用が期待できる企業・団体として、神奈川県内の200床以上ある病院（県立病院を除く）と、キャンパスとして予定する川崎市殿町に拠点を設ける企業、東京都もしくは神奈川県に本社/支社を持つ主要な製薬・医療機器企業、計155件を対象とした。詳細は以下の通り。

業種	抽出条件	送付件数
病院	神奈川県内で200床以上	132件
企業	川崎市殿町に拠点がある	9件
企業(製薬)	主要な製薬・医療機器企業	14件
合計		155件

◆調査方法：調査対象とした155件の採用担当者宛てに、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）の説明が入ったアンケート用紙を送付。回答後、返信を求めた。

◆調査内容：アンケート項目は全9問で、8問が選択肢式、1問が記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。

『企業・団体の基本情報』

『企業・団体が新卒生を採用する際に重視する点について』

『大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）の修了生の採用見込みについて』

◆回収件数：31件（配布件数 155件 / 回収率 20%）

1-2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2~5 ページは、アンケートで回答を得た31件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴社・貴団体の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	農業・林業・漁業	0	0.0%
2	鉱業	0	0.0%
3	建設業	0	0.0%
4	製造業	2	6.5%
5	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
6	情報通信業	0	0.0%
7	運輸業	0	0.0%
8	卸売・小売業	0	0.0%
9	金融業・保険業	0	0.0%
10	不動産業	0	0.0%
11	宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
12	生活関連サービス業・娯楽業	0	0.0%
13	教育・学習支援業	0	0.0%
14	医療・福祉	27	87.1%
15	サービス業	0	0.0%
16	公務	1	3.2%
17	その他	1	3.2%
	計	31	100.0%

問2 貴社・貴団体の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	神奈川県	25	80.6%
2	東京都	5	16.1%
3	千葉県	0	0.0%
4	埼玉県	0	0.0%
5	その他	1	3.2%
	計	31	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	～50人	1	3.2%
2	51～100人	0	0.0%
3	101～500人	13	41.9%
4	501～1,000人	6	19.4%
5	1,001人～	11	35.5%
	計	31	100.0%

問4 貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した31件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	コミュニケーション能力	27	87.1%
2	専門的な知識	25	80.6%
3	リーダーシップ	9	29.0%
4	語学力	3	9.7%
5	創造的思考力	10	32.3%
6	主体性・自律性	18	58.1%
7	目的達成志向	7	22.6%
8	適応力	19	61.3%
9	インターンシップ経験	2	6.5%
10	忍耐力	11	35.5%
11	理解力	14	45.2%
12	論理力	7	22.6%
13	取得資格・免許(見込含)	10	32.3%
14	ITスキル	4	12.9%
15	その他	0	0.0%
	無回答	1	3.2%

問5 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	かなり興味がある	1	3.2%
2	やや興味がある	11	35.5%
3	どちらとも言えない	18	58.1%
4	興味がない	1	3.2%
	計	31	100.0%

問6 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」で学ぶ学生を、インターンシップ等で受け入れ、貴社・貴団体の業務あるいは研究と関わりを持たせたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ぜひ受け入れたい	2	6.5%
2	受け入れを検討したい	3	9.7%
3	どちらとも言えない	24	77.4%
4	受け入れない	2	6.5%
	計	31	100.0%

問7 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を主に平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ぜひ派遣したい	0	0.0%
2	派遣を検討したい	2	6.5%
3	どちらとも言えない	20	64.5%
4	難しい	9	29.0%
	計	31	100.0%

以下は問7で「2. 派遣を検討したい」と回答した2件が回答対象である。

問7で1または2とお答えいただいた場合、平日の講義開始時間をどこに設定すれば通いやすいと思われますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	18:00	0	0.0%
2	18:30	1	50.0%
3	19:00	1	50.0%
4	その他	0	0.0%
	計	2	100.0%

問8 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」の修了生を、貴社・貴団体に採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	1	3.2%
2	採用を検討したい	15	48.4%
3	採用は検討しない	15	48.4%
	計	31	100.0%

以下は問8で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した16件が回答対象である。

(問8で)1または2とお答えいただいた場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。

番号	選択項目	回答数	構成比
	1人	9	56.3%
	3人	1	6.3%
	未定	1	6.3%
	無回答	5	31.3%
	計	16	100.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ 1件から回答を得た。

業種	採用意欲	自由記述
医療・福祉	採用を検討したい	基盤として病院経営等の知識(経験)がなければ、実質意味を成さないこともあると思いますので、この部分の教育もお願いします。

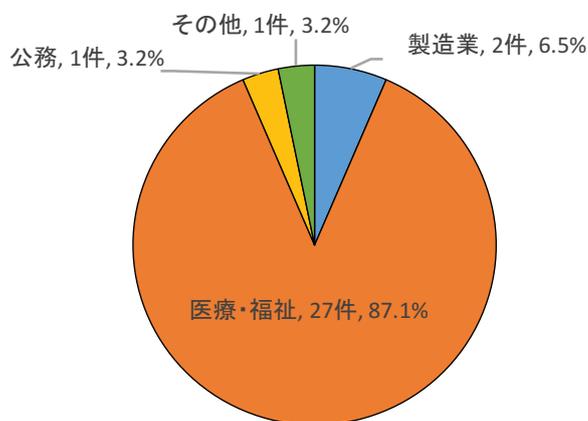
1-3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

- 回答のあった業種のうち、「医療・福祉」が約9割を占める。

回答を得た31件のうち、87.1%にあたる27件が「医療・福祉」で、もっとも多い割合となっている。それ以外の回答として、「製造業」が2件、「公務」と「その他」がそれぞれ1件の回答を得ている。

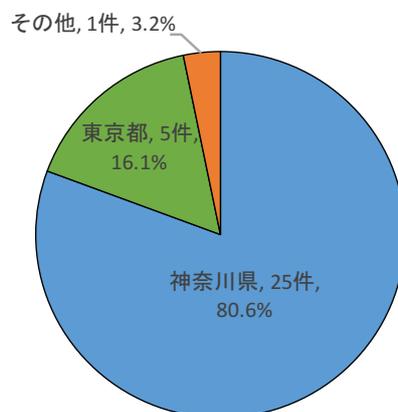
グラフ 回答元の業種 (「問1」結果より)



- 8割が神奈川県に所在する企業・団体。

回答を得た31件のうち、80.6%にあたる25件が神奈川県、16.1%にあたる5件が東京都、1件がその他に所在していると回答した。

グラフ 回答元の所在地 (「問2」結果より)



- 従業員規模として、「101～500人」と「1,001人～」がそれぞれ約4割。

従業員規模として、もっとも多い回答は13件の「101～500人」で、業種はいずれも「医療・福祉」であった。2番目に多い回答は11件の「1,001人～」で、「医療・福祉」の他、「製造業」、「公務」、「その他」からの回答であった。なお、「医療・福祉」以外の業種はいずれも「1,001人～」の規模となっている。

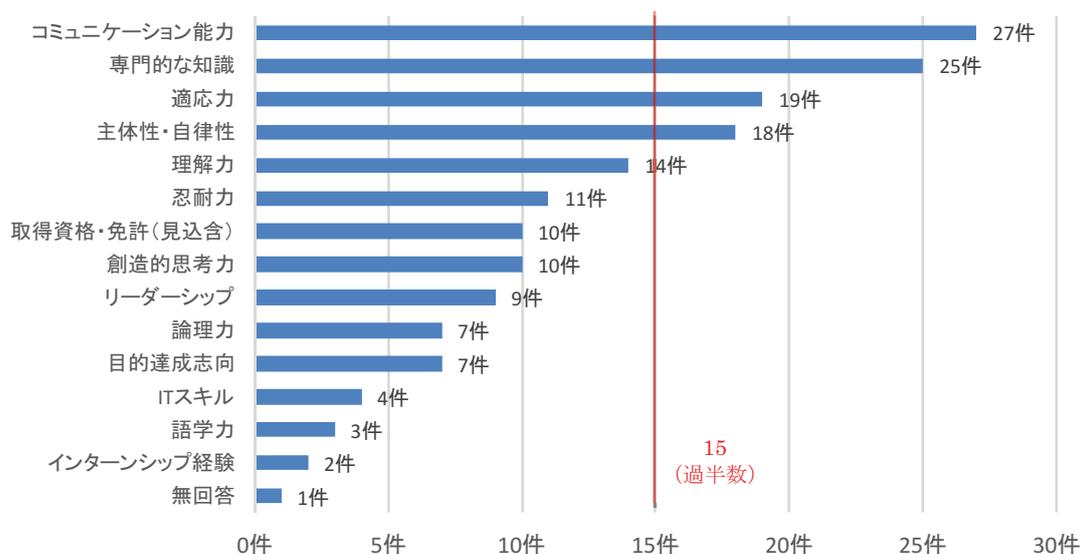
表 業種別・回答元の従業員規模（「問1」「問3」の結果より）

選択項目	製造業	医療・福祉	公務	その他	全体
～50人		1件			1件
101～500人		13件			13件
501～1,000人		6件			6件
1,001人～	2件	7件	1件	1件	11件
合計	2件	27件	1件	1件	31件

- 大学院生の採用時は、「コミュニケーション能力」と「専門的な知識」を特に重視。

大学院生採用の際に重視する能力・体験等として、「コミュニケーション能力」（87.1%）、「専門的な知識」（80.6%）への回答が目立った。他にも、半数以上が「適応力」「主体性・自立性」を回答しており、複数の能力・体験等を重視する傾向が見られた。

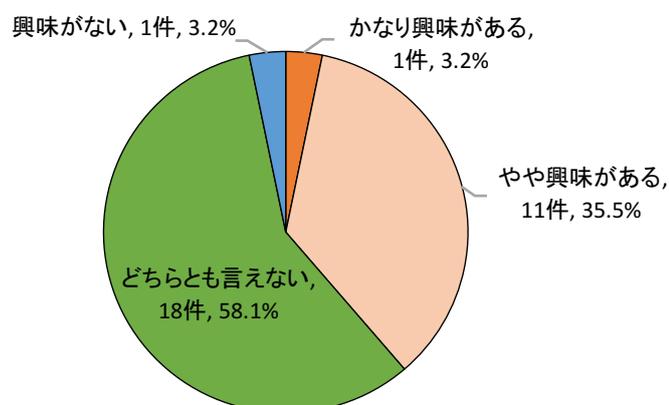
グラフ 大学院生採用時に重視する能力・体験（「問4」結果より）※複数回答の結果、回答数が多い順



- 約 4 割の企業が神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に「興味がある」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」に対し、「かなり興味がある」に 1 件（3.2%）、「やや興味がある」に 11 件（35.5%）が回答した。合計で 38.7%にあたる 12 件より、興味を示す回答が得られた。

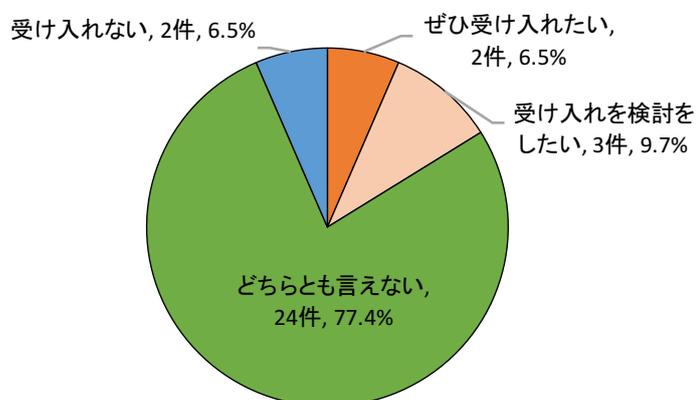
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への興味度（「問 5」結果より）



- 約 2 割の企業が、構想中の大学院で学ぶ学生を「受け入れたい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」で学ぶ学生へのインターンシップ等での受け入れについて、「ぜひ受け入れたい」に 2 件（6.5%）、「受け入れを検討したい」に 3 件（9.7%）が回答した。合計で、16.1%にあたる 5 件より、インターンシップ受け入れについて、興味を示す回答が得られた。

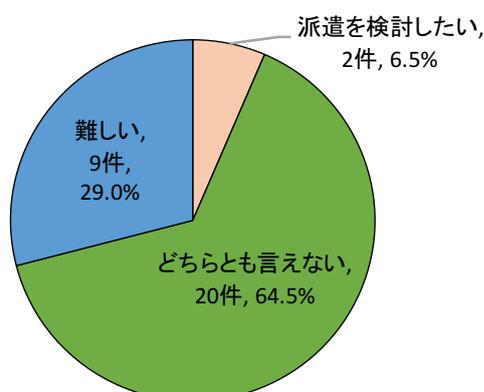
グラフ 構想中の大学院で学ぶ学生のインターンシップ受け入れへの興味度（「問 6」結果より）



- 約 1 割が、従業員を構想中の大学院へ「派遣したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」への従業員の派遣について、「派遣を検討したい」に 2 件（6.5%）が回答した。なお、もっとも多い回答には「どちらとも言えない」で 20 件（64.5%）であった。

グラフ 構想中の大学院への従業員派遣に対する興味度（「問 7」結果より）



- 16 件が採用意欲を示し、採用可能人数の合計が 12 人。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の修了生について、1 件（3.2%）が「採用したい」、15 件（48.4%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で 16 件（51.6%）が採用意欲を示した。

地域別に「採用したい」「採用を検討したい」への回答をみると、「神奈川県」は 13 件、「東京都」は 2 件、「その他」は 1 件と、キャンパスを予定する川崎市周辺に所在する企業・団体より、一定の採用意欲を示す回答を得られた。

なお、採用意欲を示した 16 件に対し、採用可能と思われる人数の記載を求めたところ、回答は以下の通りであった。

1 人	×	9 件	=	9 人
3 人	×	1 件	=	3 人
未定	×	1 件	=	0 人
無回答	×	5 件	=	0 人
(合計)				12 人

この結果、合計で 12 人の採用が見込まれることがわかった。

グラフ 構想中の大学院修了生の採用意欲（「問8」結果より）

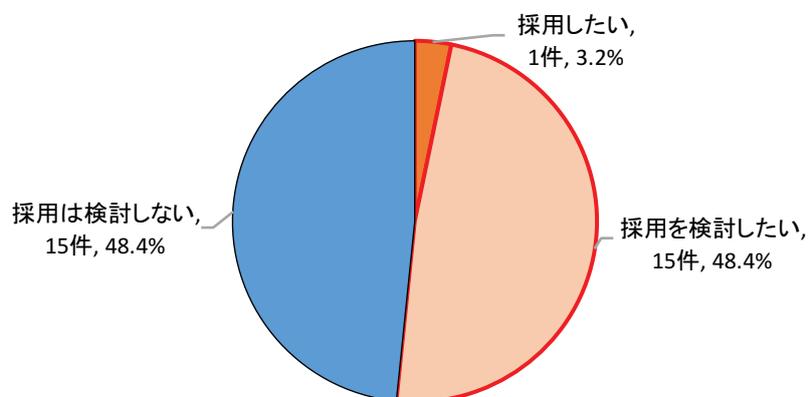


表 地域別・構想中の大学院修了生の採用意欲（「問2」「問8」の結果より）

選択項目	採用したい	採用を検討したい	採用意欲合計
神奈川県		13件	13件
東京都	1件	1件	2件
その他		1件	1件
合計	1件	15件	16件

第2章

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科

ヘルスイノベーション専攻についてのアンケート調査

<メール・WEBを活用した調査>

2-1 調査の概要

- ◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学が平成31年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の修了生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間：平成30年1月

- ◆調査対象：平成31年4月設置をめざす大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）の修了生の採用が期待できる企業・団体として、未病産業研究会に加入している企業・団体、507件を対象とした。

- ◆調査方法：第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が調査設計・WEBサイト制作を行い、神奈川県立保健福祉大学の担当者より、各企業の事業管理者・事業責任者等にメールにてサイトURLを告知の上、回答依頼を行った。

- ◆調査内容：アンケート項目は全10問で、8問が選択肢式、2問が記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。
 - 『企業・団体の基本情報』
 - 『企業・団体が大学院生を採用する際に重視する点について』
 - 『大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）の修了生の採用見込みについて』

- ◆回収件数：23件（配布件数 507件 / 回収率 4.5%）

2-2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

12～16 ページは、アンケートで回答を得た 23 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 事業所名をお答えください。(問1の回答は任意です)

※ 本報告書では割愛する。

問2 貴社・貴団体の業種をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	農業・林業・漁業	0	0.0%
2	鉱業	0	0.0%
3	建設業	0	0.0%
4	製造業	4	17.4%
5	電気・ガス・熱供給・水道業	1	4.3%
6	情報通信業	5	21.7%
7	運輸業	0	0.0%
8	卸売・小売業	1	4.3%
9	金融業・保険業	1	4.3%
10	不動産業	0	0.0%
11	宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
12	生活関連サービス業・娯楽業	0	0.0%
13	教育・学習支援業	0	0.0%
14	医療・福祉	3	13.0%
15	サービス業	5	21.7%
16	公務	0	0.0%
17	その他	3	13.0%
	計	23	100.0%

問3 貴社・貴団体の所在地(本社)をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
	神奈川県	9	39.1%
	東京都	11	47.8%
	埼玉県	1	4.3%
	静岡県	1	4.3%
	愛知県	1	4.3%
	計	23	100.0%

問4 貴社・貴団体の従業員数をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	～50 人	10	43.5%
2	51～100 人	2	8.7%
3	101～500 人	1	4.3%
4	501～1,000 人	4	17.4%
5	1,001 人～	6	26.1%
	計	23	100.0%

問5 貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した 23 件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	コミュニケーション能力	17	73.9%
2	専門的な知識	12	52.2%
3	リーダーシップ	5	21.7%
4	語学力	1	4.3%
5	創造的思考力	14	60.9%
6	主体性・自律性	15	65.2%
7	目的達成志向	8	34.8%
8	適応力	8	34.8%
9	インターンシップ経験	1	4.3%
10	忍耐力	3	13.0%

11	理解力	8	34.8%
12	論理力	6	26.1%
13	取得資格・免許(見込含)	1	4.3%
14	ITスキル	6	26.1%
15	その他	1	4.3%

問6 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」に対して、どれくらい興味がありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	かなり興味がある	13	56.5%
2	やや興味がある	10	43.5%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	興味がない	0	0.0%
	計	23	100.0%

問7 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」で学ぶ学生を、インターンシップ等で受け入れ、貴社・貴団体の業務あるいは研究と関わりを持たせたいと思いますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ぜひ受け入れたい	4	17.4%
2	受け入れを検討したい	9	39.1%
3	どちらとも言えない	9	39.1%
4	受け入れない	1	4.3%
	計	23	100.0%

問8 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を主に平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ぜひ派遣したい	3	13.0%
2	派遣を検討したい	5	21.7%
3	どちらとも言えない	10	43.5%
4	難しい	5	21.7%
	計	23	100.0%

以下は問8で「1. ぜひ派遣したい」「2. 派遣を検討したい」と回答した 8 件が回答対象である。

問8で「ぜひ派遣したい」「派遣を検討したい」をお選びいただいた場合、平日の講義開始時間をどこに設定すれば通いやすいと思われますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	18:00	2	25.0%
2	18:30	1	12.5%
3	19:00	5	62.5%
4	その他	0	0.0%
	計	8	100.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」の修了生を、貴社・貴団体に採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	2	8.7%
2	採用を検討したい	18	78.3%
3	採用は検討しない	3	13.0%
	計	23	100.0%

以下は問8で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した 20 件が回答対象である。

(問8で)1または2とお答えいただいた場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1人	9	45.0%
2	2人	1	5.0%
3	3人	0	0.0%
4	4人	0	0.0%
5	5人	0	0.0%
6	6人以上	0	0.0%
7	人数は未確定	8	40.0%
	無回答	2	10.0%
	計	20	100.0%

問 10 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ 9 件から回答を得た。

※ 固有名詞については、●●とした。

業種	採用意欲	自由記述
情報通信業	採用したい	(前提)今回の回答は現場部門の個人的な意見であり、人事部門等会社全体のものではありません。(期待)当社は情報工学の専門家集団ですが、ヘルスケア事業領域は社会基盤と密接であるため、社会科学や経営工学等の境界領域を学んできた人のスキル・志向にも合致すると考えています。また、神奈川県立保健福祉大学と●●は共同研究なども行っているはずなので、この方面が活発になることも期待しています。
その他	採用したい	●●では、未病産業研究会に登録し、神奈川県の子どもの未病対策事業へ積極的に関わって参りました。例えば、認知症予防のためのコグニサイズの展開、CHO構想による健康経営の推進、また、子どもの未病対策の一環としての就学児前児童の教育、保育に従事する指導者への運動指導講習等です。今後もさらに少子高齢化が進む、この神奈川県の地において、地域の、また県民の方々の健康づくり、未病対策に積極的に関わっていきたく思います。今回設立される研究科においても、上記のような県下のさまざまな未病対策の現場と日常的にリンクをし、その成果を共有していただけたらと期待しています。また、この研究科から育成される人材が、未病対策に大きな力を発揮してくれることを信じております。
情報通信業	採用を検討したい	IT スキル、プログラミング力をつけて欲しい。
情報通信業	採用を検討したい	バイオインフォマティクス分野は人材が不足している。IT 技術を駆使できるデータ解析分野は今後も需要が拡大することが見込まれる。
医療・福祉	採用を検討したい	地域包括センターの担い手、超高齢化に対応できる人材、地域未病関連の事業を展開するのに際して、協力いただける修士を求めています。自分も習得したいくらいです。よろしくお願いします。
サービス業	採用を検討したい	是非ウェアラブル端末、スマホ等を活用した日常健康管理システムを構築してもらいたいです。地域高齢者モニターは是非当方と連携させていただきたいです。
サービス業	採用を検討したい	障害福祉サービスに真剣に取り組む姿勢が欲しい。
製造業	採用は検討しない	通信講座や公開講座があれば是非受講したいと思います。
その他	採用は検討しない	内容の詳細が分かった段階でご意見を差し上げたいと思っています。

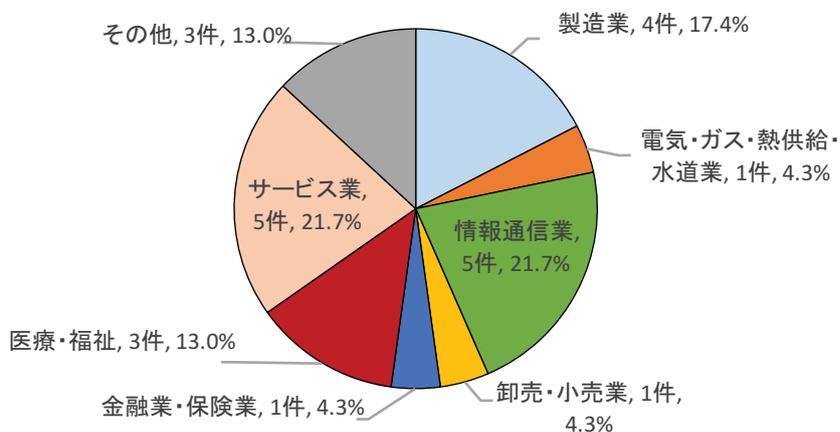
2-3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

- 「製造業」「情報通信業」「サービス業」からの回答が目立ち、各2割を占める。

回答を得た23件のうち、「情報通信業」と「サービス業」がそれぞれ21.7%にあたる5件ともっとも多い回答となっている。2番目は「製造業」で4件(17.4%)となっている。なお、選択項目として設定した17業種のうち、8業種から回答を得ている。

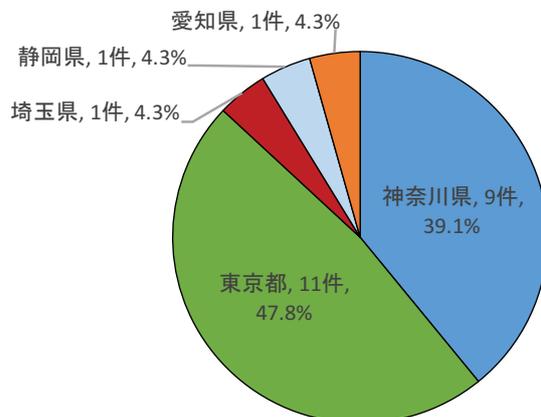
グラフ 回答元の業種 (「問2」結果より)



- 4割が神奈川県、5割が東京都に所在する企業・団体。

回答を得た23件の所在地として、39.1%にあたる9件が神奈川県、47.8%にあたる11件が東京都と回答があった他、埼玉県、静岡県、愛知県にそれぞれ1件が回答した。

グラフ 回答元の所在地 (「問3」結果より)



- 従業員規模として、「～50人」が4割、「1,001人～」が約3割。

従業員規模として、もっとも多い回答は「～50人」で、10件であった。なお、そのうちの4件は「サービス業」となっている。2番目に多い回答は「1,001人～」で6件であった。そのうち、「製造業」と「情報通信業」で2件ずつとなっている。

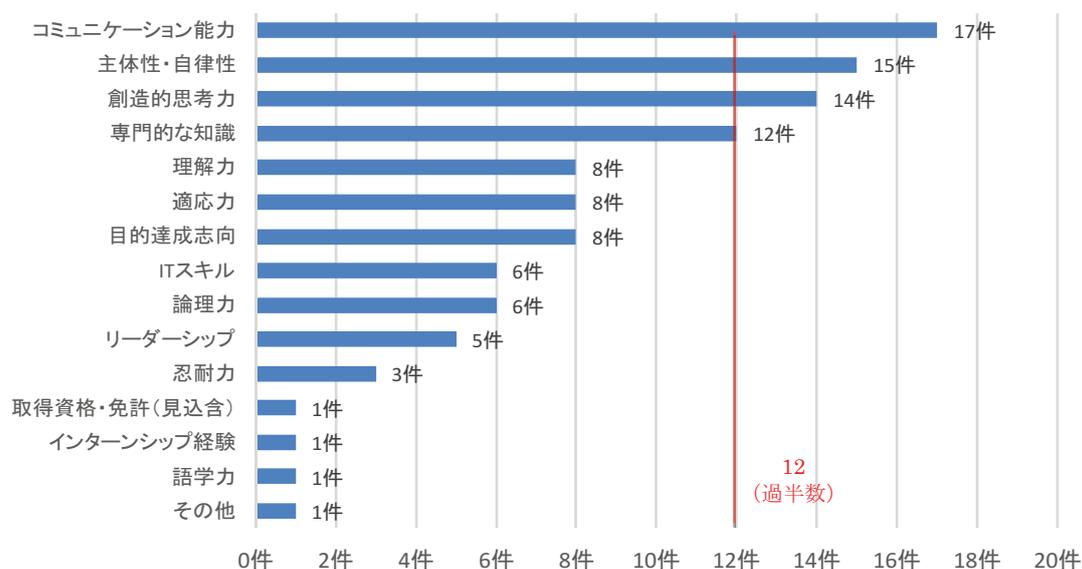
表 業種別・回答元の従業員規模（「問2」「問4」の結果より）

選択項目	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	卸売・小売業	金融業・保険業	医療・福祉	サービス業	その他
～50人	2件		1件	1件		1件	4件	1件
51～100人		1件	1件					
101～500人			1件					
501～1,000人						1件	1件	2件
1,001人～	2件		2件		1件	1件		
合計	4件	1件	5件	1件	1件	3件	5件	3件

- 大学院生の採用時は、「コミュニケーション能力」と「主体性・自律性」を特に重視。

大学院生採用の際に重視する能力・体験等として、「コミュニケーション能力」（73.9%）、「主体性・自律性」（65.2%）への回答が目立った。他にも、半数以上が「創造的思考力」「専門的な知識」を回答しており、複数の能力・体験等を重視する傾向が見られた。

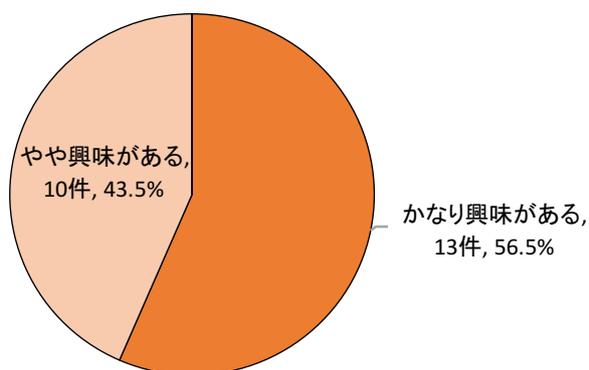
グラフ 大学院生採用時に重視する能力・体験（「問5」結果より）※複数回答の結果、回答数が多い順



- 全回答者が、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に「興味がある」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」に対し、「かなり興味がある」に 13 件（56.5%）、「やや興味がある」に 10 件（43.5%）が回答した。合計で 23 件となり、本調査の全回答者より、興味を示す回答が得られた。

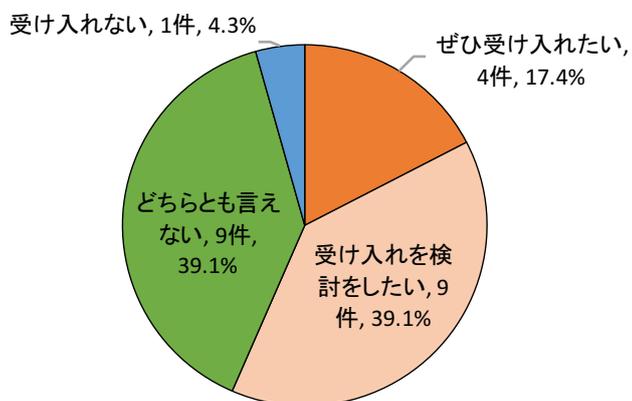
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院への興味度（「問6」結果より）



- 約 6 割が、構想中の大学院で学ぶ学生を「受け入れたい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」で学ぶ学生へのインターンシップ等での受け入れについて、「ぜひ受け入れたい」に 4 件（17.4%）、「受け入れを検討したい」に 9 件（39.1%）が回答した。合計で、56.5%にあたる 13 件より、インターンシップ等での受け入れについて、興味を示す回答が得られた。

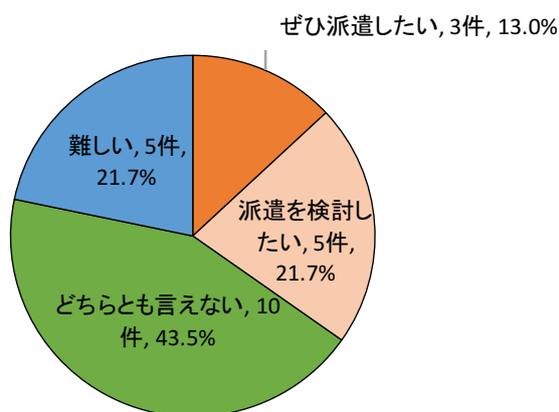
グラフ 構想中の大学院で学ぶ学生のインターンシップ受け入れへの興味度（「問7」結果より）



● 3割が、従業員を構想中の大学院へ「派遣したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」への従業員の派遣について、「ぜひ派遣したい」に3件（13.0%）、「派遣を検討したい」に5件（21.7%）が回答した。合計で34.8%にあたる8件より、従業員の派遣について意欲を示す回答が得られた。

グラフ 構想中の大学院への従業員派遣に対する興味度（「問8」結果より）



● 20件が採用意欲を示し、採用可能人数の合計が12人。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の修了生について、2件（8.7%）が「採用したい」、18件（78.3%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で20件（87.0%）が採用意欲を示した。

地域別に「採用したい」「採用を検討したい」への回答をみると、「神奈川県」は7件、「東京都」は10件と、キャンパスを予定する川崎市周辺に所在する企業・団体より、一定の採用意欲を示す回答が得られた。また、「埼玉県」「静岡県」「愛知県」もそれぞれ1件が「採用を検討したい」と回答しており、近隣でない企業・団体も採用意欲を示した。

なお、採用意欲を示した20件に対し、採用可能と思われる人数を求めたところ、回答は以下の通りであった。なお、「人数は未確定」と回答があった8件については、採用可能である最低基準である1人を基準として換算した。

1人	×	9件	=	9人
2人	×	1件	=	2人
人数は未確定	×	8件	=	8人（※最低1人として換算した）
無回答	×	2件	=	0人
(合計)				19人

この結果、合計で19人の採用が見込まれることがわかった。

グラフ 構想中の大学院修了生の採用意欲（「問9」結果より）

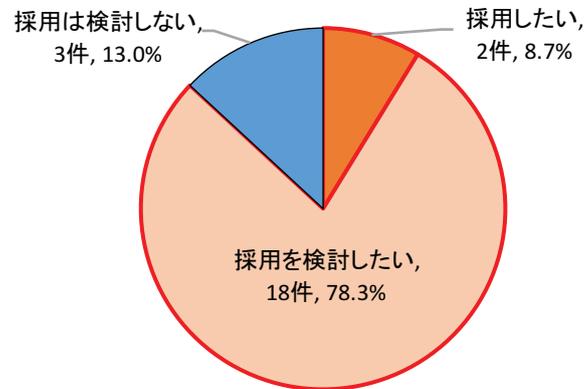


表 地域別・構想中の大学院修了生の採用意欲（「問3」「問9」の結果より）

選択項目	採用したい	採用を検討したい	採用意欲合計
神奈川県	1件	6件	7件
東京都	1件	9件	10件
埼玉県	0件	1件	1件
静岡県	0件	1件	1件
愛知県	0件	1件	1件
合計	2件	18件	20件

まとめ

全調査結果からみた「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の人材需要の見通し

本調査は神奈川県立保健福祉大学が平成 31 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の人材需要の見通しを測ることを目的として、企業・団体を対象にアンケートを実施した。

各アンケートの概要および結果は前述の通りであり、神奈川県立保健福祉大学が平成 31 年 4 月設置に向けて構想中の「学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の修了生について、採用意欲を示す回答を得られた。

下記表 1 は、調査 1 および調査 2 で得られた採用意欲への回答をまとめた表である。表 1 が示す通り、調査 1 と調査 2 の回収件数の合計 54 件のうち、「採用したい」に 3 件、「採用を検討したい」に 33 件が回答した。グラフ 1 が示す通り、回収件数 54 件の 66.7%にあたる、36 件より採用を示す回答を得られた。

また、採用意欲を示した 36 件に対して質問した、採用可能と思われる人数については、表 2 が示す通りで、合計で 31 人の採用が見込めることがわかった。この採用可能な人数の回答と、神奈川県立保健福祉大学が平成 31 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」が予定する入学定員の関係をまとめたものがグラフ 2 となるが、予定する入学定員 15 人を上回る採用意欲を示す回答を得られた。

表 1 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院修了生の採用意欲の合計

調査の種類	回収件数	採用をしたい	採用を検討したい	採用意欲の合計
調査1 (アンケート用紙を活用)	31 件	1 件	15 件	16 件
調査2 (WEB を活用)	23 件	2 件	18 件	20 件
合計	54 件	3 件	33 件	36 件

グラフ 1 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院修了生の採用意欲の合計

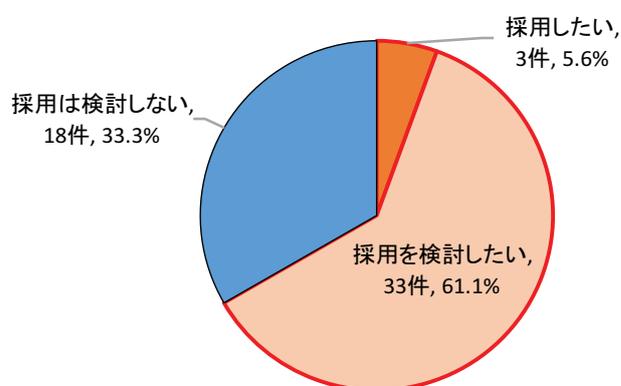
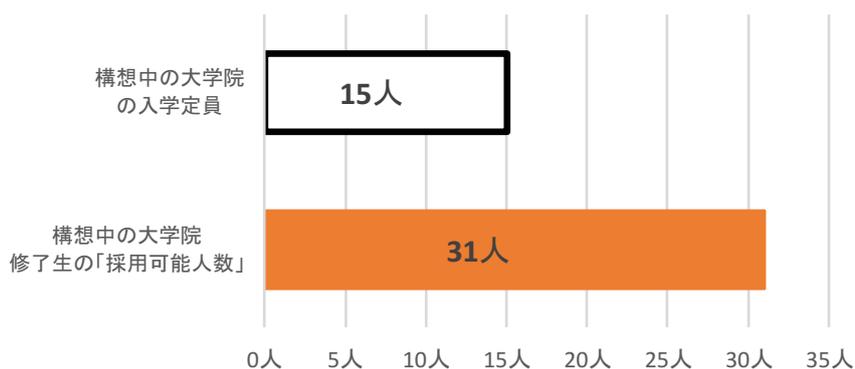


表 2 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院修了生の採用可能な人数の合計

1人	×	18件	=	18人
2人	×	1件	=	2人
3人	×	1件	=	3人
人数は未確定	×	8件	=	8人 (※最低1人として換算した)
未定	×	1件	=	0人
無回答	×	7件	=	0人
(合計)				31人

グラフ 2 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院修了生の採用可能な人数と入学定員の関係



以上の結果より、神奈川県立保健福祉大学が平成 31 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の人材需要の見通しは、予定する入学定員を上回る採用意欲を得たため、問題ないと判断できる。

添付資料

(実施したアンケート用紙)

【調査1】 設置構想に係る人材需要アンケート調査用紙

【調査2】 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻についてのアンケート調査（WEB画面）

神奈川県立保健福祉大学大学院

ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻
(仮称・設置構想中)

設置構想に係る人材需要アンケート調査

神奈川県立保健福祉大学は、平成31（2019）年に、「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程（仮称）」の設置を構想しています。

本学ではこのアンケート調査を通して、将来当該研究科の修了生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、設置構想にあたっての統計資料ならびに文部科学省への提出資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。以上の趣旨を踏まえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は神奈川県から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

貴社・貴団体名	
---------	--

質問数：9問（所要時間は5～10分程度です）

以下はヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻(仮称)の概要です。

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2019(平成31)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:2年
- 入学定員:15人
- 取得学位:修士(公衆衛生学) ※英訳 Master of Public Health
- 養成する人材像:①技術革新や、その基礎となる技術の研究・開発ができる人材
②革新的な技術を具体的に産業化できる人材
③組織管理に革新を起こし効果的・効率的な保健医療サービスの提供ができる人材
④以上のような組織・人材などを繋ぎ、仕組みを作る事ができる人材

研究科の教育と特色

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科では、起業家精神を持ち、科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くすことができる人材を養成するため、公衆衛生学の専門科目に加えて、学生の興味関心に応じて、応用科目、実習・特別研究科目を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	保健医療分野におけるイノベーションの基礎となる、未病の考え方や、ヒューマンサービス、データサイエンスなどについて学ぶ。
公衆衛生学専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)に関する知識や手法を学ぶ。
応用科目	保健医療領域におけるテクノロジー、レギュラトリーサイエンス、食品・栄養、ビジネス戦略、知的財産等に関する最先端の授業を通じ、ヘルスイノベーション創造のために必要な知識を学ぶ。
実習・特別研究科目	プレゼンテーション、プロジェクトマネジメント、リーダーシップなどの実践的なスキルを学ぶほか、学生の興味関心に応じたフィールド実習や課題研究(修士論文)に取り組む。

【研究科の特色】

- 主に夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入。
- 経験豊富な教員による、英語での授業も開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携。

卒業後の進路

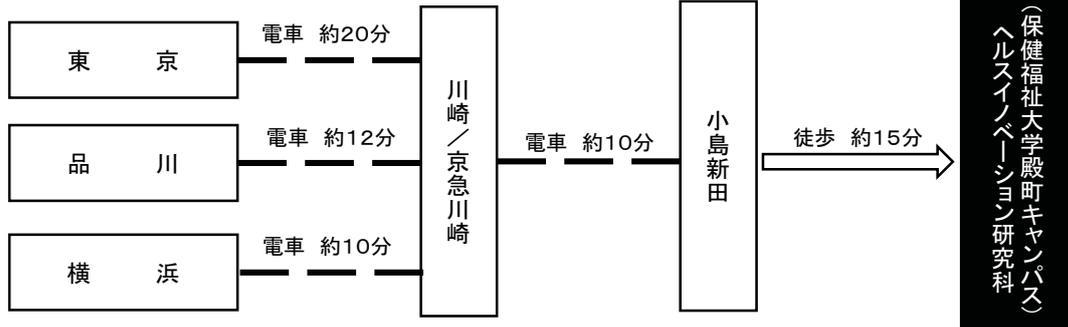
本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- ビジネスパーソン(製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融、ITなど)
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

国際戦略特区(※)に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。(住所:川崎市川崎区殿町3丁目地区)

ア
ク
セ
ス



(※)ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお尋ねいたします。

問1 貴社・貴団体の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|--------------|------------------|-------------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 |
| 4. 製造業 | 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業 | 8. 卸売・小売業 | 9. 金融業・保険業 |
| 10. 不動産業 | 11. 宿泊業・飲食サービス業 | 12. 生活関連サービス業・娯楽業 |
| 13. 教育・学習支援業 | 14. 医療・福祉 | 15. サービス業 |
| 16. 公務 | 17. その他() | |

問2 貴社・貴団体の所在地(本社)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 神奈川県 | 2. 東京都 | 3. 千葉県 |
| 4. 埼玉県 | 5. その他() | |

問3 貴社・貴団体の従業員数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. ~50人 | 2. 51~100人 | 3. 101~500人 |
| 4. 501~1,000人 | 5. 1,001人~ | |

問4 貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-----------|---------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 専門的な知識 | 3. リーダーシップ |
| 4. 語学力 | 5. 創造的思考力 | 6. 主体性・自律性 |
| 7. 目的達成志向 | 8. 適応力 | 9. インターンシップ経験 |
| 10. 忍耐力 | 11. 理解力 | 12. 論理力 |
| 13. 取得資格・免許(見込含) | 14. ITスキル | 15. その他() |

4ページにも質問がございます。

構想中のヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）についてお尋ねします。

問5 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」に対して、どれくらい興味がありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. かなり興味がある 2. やや興味がある 3. どちらとも言えない 4. 興味がない

問6 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」で学ぶ学生を、インターンシップ等で受け入れ、貴社・貴団体の業務あるいは研究と関わりを持たせたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ぜひ受け入れたい 2. 受け入れを検討したい 3. どちらとも言えない 4. 受け入れない

問7 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を主に平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ぜひ派遣したい 2. 派遣を検討したい 3. どちらとも言えない 4. 難しい

1または2とお答えいただいた場合、平日の講義開始時間をどこに設定すれば通いやすいと思われませんか。

1. 18:00 2. 18:30 3. 19:00 4. その他（ ）

問8 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」の修了生を、貴社・貴団体で採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 採用したい 2. 採用を検討したい 3. 採用は検討しない

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」の修了生について、1または2とお答えいただいた場合、よろしければ以下にもお答えください。

・採用可能と思われる人数 名

問9 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻
についてのアンケート調査

必要事項をご入力の上、送信ボタンを押してください。

問1 よろしければ事業所名をお答えください。(問1の回答は任意です)

問2 貴社・貴団体の業種をお答えください。

- 農業・林業・漁業
- 鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融業・保険業
- 不動産業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- サービス業
- 公務
- その他

問2で「その他」をお選びの場合、ご入力ください。(全角60文字以内)

問3 貴社・貴団体の所在地(本社)をお答えください。

問4 貴社・貴団体の従業員数をお答えください。

- ~50人
- 51~100人
- 101~500人
- 501~1,000人
- 1,001人~

問5 貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等を1つ以上お答えください。（複数回答可）

- コミュニケーション能力
- 専門的な知識
- リーダーシップ
- 語学力
- 創造的思考力
- 主体性・自律性
- 目的達成志向
- 適応力
- インターンシップ経験
- 忍耐力
- 理解力
- 論理力
- 取得資格・免許（見込含）
- ITスキル
- その他

問5で「その他」をお選びの場合、具体的な内容を入力ください。（全角60文字以内）

※ 以下の問6以降にお答えいただく前に[こちらをクリック](#)いただき、「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻の概要」をご覧ください。

問6 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」に対して、どれくらい興味がありますか。

- かなり興味がある
- やや興味がある
- どちらとも言えない
- 興味がない

問7 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」で学ぶ学生を、インターンシップ等で受け入れ、貴社・貴団体の業務あるいは研究と関わりを持たせたいと思いますか。

- ぜひ受け入れたい
- 受け入れを検討をしたい
- どちらとも言えない
- 受け入れない

問8 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。

- ぜひ派遣したい
- 派遣を検討したい
- どちらとも言えない
- 難しい

問8で「ぜひ派遣したい」「派遣を検討したい」をお選びいただいた場合、平日の講義開始時間をどこに設定すれば通いやすいと思われますか。

- 18:00
- 18:30
- 19:00
- その他

講義時間にて「その他」をお選びの場合、具体的な時間をお答えください。（全角16文字以内）

問9 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」の修了生を、貴社・貴団体に採用したいと思いませんか。

- 採用したい
 採用を検討したい
 採用は検討しない

問9で「採用したい」「採用を検討したい」とお答えいただいた場合、採用可能と思える人数をお答えください。

----- 選択してください ----- ▼

問10 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻（仮称）」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。（全角1,000文字以内）

送信

ご登録される情報は、暗号化された通信(SSL)で保護され、プライバシーマークやISO27001/JIS Q 27001, ISO20000-1, ISO9001の認証を取得している [株式会社パイブドット](#)による情報管理システム「スパイラル」で安全に管理されます。



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 (仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期: 2019(平成31)年 ■ 開設場所: 神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限: 2年 ■ 入学定員: 15人
- 取得学位: 修士(公衆衛生学) ※英訳 Master of Public Health
- 養成する人材像: ①技術革新や、その基礎となる技術の研究・開発ができる人材
②革新的な技術を具体的に産業化できる人材
③組織管理に革新を起こし効果的・効率的な保健医療サービスの提供ができる人材
④以上のような組織・人材などを繋ぎ、仕組みを作る事ができる人材

研究科の教育と特色

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科では、起業家精神を持ち、科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くすことができる人材を養成するため、公衆衛生学の専門科目に加えて、学生の興味関心に応じて、応用科目、実習・特別研究科目を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	保健医療分野におけるイノベーションの基礎となる、未病の考え方や、ヒューマンサービス、データサイエンスなどについて学ぶ。
公衆衛生学専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)に関する知識や手法を学ぶ。
応用科目	保健医療領域におけるテクノロジー、レギュラトリーサイエンス、食品・栄養、ビジネス戦略、知的財産等に関する最先端の授業を通じ、ヘルスイノベーション創造のために必要な知識を学ぶ。
実習・特別研究科目	プレゼンテーション、プロジェクトマネジメント、リーダーシップなどの実践的なスキルを学ぶほか、学生の興味関心に応じたフィールド実習や課題研究(修士論文)に取り組む。

【研究科の特色】

- 主に夜間や土曜で授業を実施し、一部Eラーニングでの受講も可能とするなど、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 通常2年での修了を、3~4年でも可能とする長期履修制度を導入。
- 経験豊富な教員による、英語での授業も開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関とフィールド実習や共同研究などで連携。

卒業後の進路

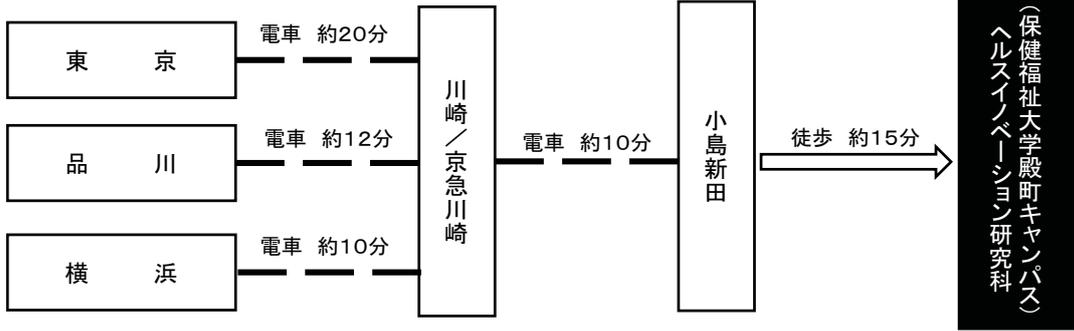
本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- ビジネスパーソン(製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融、ITなど)
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

ア
ク
セ
ス

国際戦略特区(※)に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。(住所:川崎市川崎区殿町3丁目地区)



(※)ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

神奈川県立保健福祉大学院ヘルスイノベーション研究科
 プレ講座「Introduction to Health Innovation」参加者アンケートの結果

○ ご職業

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社員	21	47.7%
2	公務員・教職員・団体職員	5	11.4%
3	医師・獣医師	1	2.3%
4	薬剤師	1	2.3%
5	看護師・保健師・助産師	4	9.1%
6	大学生・大学院生	4	9.1%
7	その他	6	13.6%
	無回答	2	4.5%
	計	44	100.0%

○ 年齢

番号	選択項目	回答数	構成比
	～19 歳	0	0.0%
	20 代	5	11.4%
	30 代	13	29.5%
	40 代	15	34.1%
	50 代	10	22.7%
	60 代	0	0.0%
	70 歳～	1	2.3%
	計	44	100.0%

(1) 本日の講義1の内容はいかがでしたか。(あてはまるもの一つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	とても満足した	12	27.3%
2	満足した	20	45.5%
3	普通	8	18.2%
4	あまり満足できなかった	3	6.8%
5	全く満足できなかった	1	2.3%
	計	44	100.0%

(2) 本日の講義2の内容はいかがでしたか。(あてはまるもの一つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	とても満足した	11	25.0%
2	満足した	16	36.4%
3	普通	8	18.2%
4	あまり満足できなかった	3	6.8%
5	全く満足できなかった	2	4.5%
	無回答	4	9.1%
	計	44	100.0%

(3) 本日のグループワークの内容はいかがでしたか。(あてはまるもの一つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	とても満足した	17	38.6%
2	満足した	14	31.8%
3	普通	6	13.6%
4	あまり満足できなかった	2	4.5%
5	全く満足できなかった	0	0.0%
	無回答	5	11.4%
	計	44	100.0%

(4) 本日のプレ講座の長さについて、どのように感じましたか。(あてはまるもの一つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	長く感じた	0	0.0%
2	やや長く感じた	6	13.6%
3	丁度よい長さ	30	68.2%
4	短く感じた	7	15.9%
	無回答	1	2.3%
	計	44	100.0%

(5)ヘルスイノベーション研究科では、国際的に活躍できる人材の育成を目指しており、日本語・英語両方での授業実施や、海外からの留学生が英語のみで修了できるコースの設置も検討しています。

(5-1)あなたが学生であった場合、英語で開講される講義について、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	自身の英語力に関わらず、積極的に履修したい	25	56.8%
2	英語力に自信はないが、出来る限り履修したい	15	34.1%
3	英語力に自信がないので、出来る限り履修しない	2	4.5%
4	その他	2	4.5%
	計	44	100.0%

(5-2)あなたが学生であった場合、海外からの留学生が参画する環境について、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	非常によいと思う	26	59.1%
2	よいと思う	16	36.4%
3	やや不安に思う	2	4.5%
4	不安に思う	0	0.0%
	計	44	100.0%

(5-3)本日の2講義は英語で実施しました。英語の語学的な理解度について(講義の専門的な内容・知識は除く)あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	全て理解できた	6	13.6%
2	おおむね理解できた	24	54.5%
3	あまり理解できなかった	10	22.7%
4	ほとんど理解できなかった	3	6.8%
	無回答	1	2.3%
	計	44	100.0%

* 差支えなければ、現在のあなたの英語スコアを教えてください(TOEIC/TOEFL/IELTS 等)。

番号	記載内容	回答数	構成比
	TOEIC350 点	1	2.3%
	TOEIC 590 点	2	4.5%
	TOEIC 610 点	1	2.3%
	TOEIC 680 点	1	2.3%

	TOEIC 700 点	1	2.3%
	TOEIC 750 点	1	2.3%
	TOEIC 795 点	1	2.3%
	TOEIC 800 点	2	4.5%
	TOEIC 825 点	1	2.3%
	TOEIC 840 点	1	2.3%
	TOEIC 865 点	1	2.3%
	TOEIC 890 点	1	2.3%
	TOEIC 910 点	1	2.3%
	TOEIC 930 点	1	2.3%
	TOEIC 970 点	1	2.3%
	TOEFL 105 点	1	2.3%
	その他(受けたことなし/なし/0 点/来月受験予定)	4	9.1%
	無回答	22	50.0%
	計	44	100.0%

(6)ヘルスイノベーション研究科では、社会人が学びやすい環境を目指しており、平日夜間の授業や、必修科目の土曜日配置などを検討しています。

(6-1)社会人の方にお聞きします。平日の勤怠終了後に通学する場合、ヘルスイノベーション研究科 殿町キャンパスへの到着予定時刻はいつごろでしょうか。
(殿町キャンパスへの所要時間:京急川崎駅から電車+徒歩で約 30 分程度)

番号	記載内容	回答数	構成比
	18 時 30 分ごろ	4	9.1%
	19 時 00 分ごろ	15	34.1%
	19 時 20 分ごろ	1	2.3%
	19 時 30 分ごろ	10	22.7%
	20 時 00 分ごろ	5	11.4%
	20 時 30 分ごろ	2	4.5%
	無回答	7	15.9%
	計	44	100.0%

(6-2)あなたが望ましいと考える 1 科目の授業時間及び期間について、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	90 分の授業を 15 回	24	54.5%
2	135 分の授業を 10 回	6	13.6%

3	どちらでも構わない	10	22.7%
	無回答	4	9.1%
	計	44	100.0%

(6-3)あなたが学生であった場合、オンラインでの受講(eラーニング)や、海外提携校による遠隔授業の実施について、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	非常によいと思う	24	54.5%
2	よいと思う	12	27.3%
3	やや不安に思う	5	11.4%
4	不安に思う	1	2.3%
	無回答	2	4.5%
	計	44	100.0%

(7)あなたが大学院の科目の中で短期間のフィールド実習を受講するとした場合、希望する実習先について、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。(重複回答可)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 44 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	企業(国内)	17	38.6%
2	企業(海外)	23	52.3%
3	公的機関(国内)	18	40.9%
4	公的機関(海外)	18	40.9%
5	研究機関(国内)	21	47.7%
6	研究機関(海外)	18	40.9%
7	医療関連施設(国内)	18	40.9%
8	医療関連施設(海外)	12	27.3%
9	その他	2	4.5%
	無回答	1	2.3%

(8)あなたが特に関心のある分野について、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。(重複回答可)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 44 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	疫学	17	38.6%
2	生物統計学	10	22.7%

3	社会行動科学	25	56.8%
4	環境保健学	10	22.7%
5	保健医療管理学	22	50.0%
6	ビジネス戦略	19	43.2%
7	ヘルスケアテクノロジー	24	54.5%
8	データサイエンス	16	36.4%
9	防災	4	9.1%
10	都市計画	11	25.0%
11	母子保健	7	15.9%
12	レギュラトリーサイエンス	5	11.4%
13	国際保健	10	22.7%
14	医療政策	7	15.9%
15	栄養・食品	7	15.9%
16	プレゼンテーション	12	27.3%
17	リーダーシップ論	3	6.8%
18	バイオデザイン	3	6.8%
19	その他	0	0.0%

(9)ご意見等ございましたらご自由にお書きください。

※記載は割愛する。

**資料9: 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」
入学意向に関するWEBアンケートのクロス集計 (英語で開講する講義への印象×入学意欲)**

Q5 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」では、日本語・英語両方での授業実施を検討しています。英語で開講される講義への印象について教えてください。

×

Q10 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	Q10で 「合格した場合、入学したい」		Q10で 「合格した場合、併願大学の結果 によっては入学したい」	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	自身の英語力に関わらず、積極的に履修したい	248	45.0%	56	22.5%
2	英語力に自信はないが、出来る限り履修したい	236	42.8%	104	41.8%
3	英語力に自信がないので、出来る限り履修しない	62	11.3%	60	24.1%
4	その他	5	0.9%	29	11.6%
	合計	551	100.0%	249	100.0%

**資料10: 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」
入学意向に関するWEBアンケートのクロス集計 (英語スコア×入学意欲)**

Q7-1 現在のあなたのTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

×

Q10 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	Q10で 「合格した場合、入学したい」		Q10で 「合格した場合、併願大学の結果 によっては入学したい」	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	10～395	31	5.6%	5	2.0%
2	400～495	43	7.8%	20	8.0%
3	500～595	80	14.5%	25	10.0%
4	600～695	97	17.6%	44	17.7%
5	700～795	55	10.0%	27	10.8%
6	800～895	51	9.3%	15	6.0%
7	900～990	24	4.4%	9	3.6%
8	受験したことがない	170	30.9%	104	41.8%
	合計	551	100.0%	249	100.0%

Q7-2 現在のあなたのTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

×

Q10 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	Q10で 「合格した場合、入学したい」		Q10で 「合格した場合、併願大学の結果 によっては入学したい」	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	0～49	14	2.5%	2	0.8%
2	50～55	7	1.3%	1	0.4%
3	56～60	13	2.4%	1	0.4%
4	61～65	24	4.4%	6	2.4%
5	66～70	33	6.0%	15	6.0%
6	71～75	33	6.0%	12	4.8%
7	76～80	24	4.4%	8	3.2%
8	81～85	20	3.6%	8	3.2%
9	86～90	16	2.9%	5	2.0%
10	91～95	11	2.0%	4	1.6%
11	96～100	7	1.3%	1	0.4%
12	100～120	13	2.4%	5	2.0%
13	受験したことがない	336	61.0%	181	72.7%
	合計	551	100.0%	249	100.0%